

第1学年 生物学

時間数	30時間 (2時間×15回)
担当者	教養教育センター 生物学科 助教 内藤 雪枝
一般目標	歯科医学の基礎や臨床科目の深い理解のためには、生物学の知識や考え方が要求されます。本科目では、初学者に必要な知識を習得しつつ、さまざまな生物学的現象の関連や共通性、あるいは多様性を認識し、生命現象についての理解を深めます。
成績評価	レポート(30%)と中間試験及び定期試験(70%)
教科書	歯科衛生学シリーズ「生物学」(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	12	金	1	内藤	生命とは p.1-13	・生命の特徴と、生命現象の科学的な捉え方を説明できる。
2	4	19	金	1	内藤	細胞をつくる物質 生命の単位 細胞 p.16-26 (一. I-2-C-a~c)	・生体を構成する物質、細胞の多様性を説明することができる。
3	4	26	金	1	内藤	細胞小器官 p.27-28 (一. I-1-C-b, II-2-A-b)	・細胞の構造と主な細胞小器官の機能を説明することができる。
4	5	17	金	1	内藤	細胞のさまざまな活動 p.28-35 (一. II-2-D・F)	・生体のエネルギー獲得と消費の仕組みを概説すると共に、酵素とATPのはたらきを説明できる。
5	5	24	金	1	内藤	細胞の一生 単細胞生物と多細胞生物 p.36-40 (一. I-1-C-c, II-2-C)	・細胞の増殖・分化と細胞死について、サイクルと仕組みを説明できる。
6	5	31	金	1	内藤	ヒトの組織 p.40-43 (一. I-2-B-a~c)	・4大組織の構造やはたらきを、人体の特徴を考慮しつつ説明できる。
7	6	7	金	1	内藤	ヒトの器官 p.44-47 (一. I-2-A)	・各器官の構造やはたらきを、人体の特徴を考慮しつつ説明できる。
8	6	14	金	1	内藤	中間試験 生殖の方法 減数分裂 p.50-54 (一. II-2-C)	・履修した内容に対する理解度を評価します。 ・生物の生殖法、細胞分裂、配偶子形成について説明できる。
9	6	21	金	1	内藤	遺伝とその法則 生命をつくる仕組み p.55-64 (一. II-2-B)	・遺伝のしくみや遺伝子の本体を説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
10	6	28	金	1	内藤	遺伝子を働かせる仕組み 発生 p.65-72 (一. II-2-B)	・遺伝子の形質発現のしくみを説明できる。発生の過程、発生と分化のしくみを説明できる。
11	7	4	木	4	内藤	感覚器 p.74-77 (一. I-6-A、II-8-B)	・刺激の受容と感覚器のしくみを説明できる。
12	7	11	木	4	内藤	神経と神経系 p.77-83 (一. I-5、II-7-B~D)	・興奮の伝導と伝達のしくみ、神経系を説明できる。
13	7	18	木	4	内藤	ホメオスタシス ホルモン p.84-90 (一. I-7、II-3-A、II-12)	・体液の恒常性、ヒトの内分泌器官とホルモンの働きのしくみを説明できる。
14	7	26	金	1	内藤	自律神経とホルモンの協調作用 p.90-92 (一. II-11-A、II-12)	・ホメオスタシスの代表例である、血糖値の調節、体温調節のしくみを説明できる。
15	8	23	金	1	内藤	生体防御 p.92-96 (三. I-7-A、 II-4-A-a~e、II-4-D・E)	・自己と非自己を認識し、異物を排除するしくみを概説することができるとともに、金属アレルギーがおこるしくみについても説明できる。

第1学年 化学

時間数	30時間 (2時間×15回)
担当者	生化学講座 細胞情報科学分野 講師 横田 聖司
一般目標	化学の基礎を学び、生活や生命を支える化学物質の特徴(構造、性質)を理解する。
成績評価	客観評価(95%、中間試験含む)、およびレポート(5%)
教科書	歯科衛生学シリーズ「化学」(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	15	月	4	横田	物質について 1) 物質の分類 2) 物質の構造	<ul style="list-style-type: none"> 原子の構造を説明できる。 原子番号と質量数を説明できる。 原子の電子配置を説明できる。
2	4	22	月	4	横田	元素の周期律 1) 周期表における元素の分類 2) 主な元素各論	<ul style="list-style-type: none"> 典型元素と遷移元素を説明できる。 金属元素と非金属元素を説明できる。 主な元素の性質を説明できる。
3	5	13	月	4	横田	物質量 1) 原子質量単位 2) 原子量 3) 分子量、式量	<ul style="list-style-type: none"> 原子量の算出根拠を説明できる。 分子量、式量を算出できる。 モルの概念を説明できる。
4	5	20	月	4	横田	化学結合 1) 各種化学結合 2) 分子間結合 (一. II-1-C、2-D・E)	<ul style="list-style-type: none"> イオン結合、化学結合、配位結合、金属結合の特徴を説明できる。 極性を理解し、水素結合を説明できる。 分子間力を説明できる。
5	5	27	月	4	横田	水溶液 1) 水溶液の濃度の各種単位 2) コロイドの概念 (一. II-2-A・D)	<ul style="list-style-type: none"> 3種の%濃度を説明し、算出できる。 モル濃度を算出できる。 希薄溶液の濃度をppm単位で算出できる。 各濃度間の転換ができる。 コロイド溶液を説明できる。
6	6	3	月	4	横田	酸と塩基 (一. II-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> 酸と塩基の性質を説明できる。 酸と塩基の定義を述べることができる。 酸と塩基の価数、強弱を説明できる。
7	6	10	月	4	横田	水素イオン濃度とpH 1) 中和反応 2) 緩衝作用 (一. II-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> 水素イオン濃度とpHとの関係を説明できる。 水溶液の濃度からpHを算出できる。 中和反応を説明できる。 緩衝作用と緩衝溶液を説明できる。
8	6	17	月	4	横田	中間試験	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項 (国試出題基準)	学習到達目標
9	6	24	月	4	横田	酸化と還元 (一. II-2-D・E)	<ul style="list-style-type: none"> 酸化と還元の見定を説明できる。 酸化数を説明できる。 化学反応について説明できる。 化学反応式を書き表すことができる。
10	7	1	月	4	横田	有機化合物(1) (一. II-1-C)	<ul style="list-style-type: none"> 有機化合物の構成元素を列挙できる。 有機化合物の構造的な特徴を説明できる。 各種官能基を列挙し、その特徴を説明できる。
11	7	8	月	4	横田	有機化合物(2) 1) 各種有機化合物の特徴 (一. II-1-C 八. V-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> 飽和炭化水素化合物の特徴を説明できる。 不飽和炭化水素化合物の特徴を説明できる。 炭化水素以外の元素を含む有機化合物の特徴を説明できる。
12	8	19	月	4	横田	生体を構成する物質(1) 1) 水 2) 無機成分 (一. II-1-B、 八. V-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> 水の構造の特性を説明できる。 水の溶媒としての特性を説明できる。 生元素の種類とその含有率を列挙できる。 主な生元素の機能を説明できる。
13	8	26	月	4	横田	生体を構成する物質(2) 1) 糖質 (一. II-1-C-b、 八. V-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> 糖質の定義を説明でき、また分類できる。 単糖が持つ官能基を列挙でき、またその構造を書ける。 多糖類を形成しているグリコシド結合を説明できる。
14	9	2	月	4	横田	生体を構成する物質(3) 1) タンパク質 2) アミノ酸 (一. II-1-C-a、2-F、 11-A・B、八. V-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> アミノ酸の一般構造を書き、その特徴を説明できる。 アミノ酸を構造的な特徴から分類できる。 タンパク質を形成しているペプチド結合を説明できる。 タンパク質の高次構造を説明できる。
15	9	9	月	4	横田	生体を構成する物質(4) 1) 脂質 2) 核酸 (一. II-1-C-c、 八. V-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> 脂質の構造的な特徴を説明できる。 トリアシルグリセロールの構造を説明できる。 脂質を分類できる。 核酸の構成成分を列挙でき、またDNAとRNAの違いを説明できる。

第1学年 情報基礎管理学

時間数	20時間（2時間×10回）
担当者	教養教育センター 情報科学科 数学分野 講師 長谷川 大
一般目標	パーソナル・コンピュータ実習を通して、日常臨床あるいは研究活動上の諸問題を、情報処理という枠組みの中で解決するために必要な論理的思考法と構成的推論能力を養う。実践的には、文書作成、表計算の利用、インターネットによる情報検索、メールの送受信などの基本的なコンピュータ操作能力を身に付けることを到達目標とする。さらにLANの利用によって、情報ネットワーク社会の一員としての自覚と責任を十分に理解し、他者の立場を尊重し、かつ自己の安全を守るためのネットワーク倫理規範を学ぶことも大切な目標である。
成績評価	提出課題の内容で評価する。
教科書	「学生のための情報リテラシーOffice2016/Windows10版」 (東京電機大学出版局、若山芳三郎著)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目	学習到達目標
1	9	2	月	2	長谷川	第1実習室	Windowsの基本操作・ネットリテラシー(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・Windowsの基本操作を習得する。 ・周辺装置を正しく利用できる。 ・入力装置からの入力操作が支障なく行える。 ・Webブラウザの基本操作を習得する。 ・インターネット検索を適切に行える。
2	9	9	月	2	長谷川	第1実習室	Windowsの基本操作・ネットリテラシー(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ダウンロードしたファイルを保存し、開くことができる。 ・Webメールのアカウントを作ることができる。 ・電子メールを送受信できる。 ・電子メールにファイルを添付して送信することができる。 ・電子メールに添付されたファイルを保存し、開くことができる。 ・ネットリテラシーを習得する。
3	9	30	月	2	長谷川	第1実習室	ワードプロセッサ(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・Wordを起動させ、簡単な文書を作成・保存して終了させることができる。 ・保存した文書ファイルを開き更新することができる。 ・外部メディアにフォルダを作成し、作成した文書ファイルを保存できる。 ・タブとボタンの機能を理解する。
4	10	21	月	2	長谷川	第1実習室	ワードプロセッサ(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・記号を入力できる。 ・文字のサイズ・フォント・スタイルや位置を編集できる。 ・表を作成し、罫線機能を支障なく使用できる。
5	10	28	月	2	長谷川	第1実習室	ワードプロセッサ(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ワードアートの基本操作を習得する。 ・写真の貼り付けができる。 ・文書のレイアウトを適切に調節できる。
6	11	11	月	2	長谷川	第1実習室	ワードプロセッサ(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・単語の登録ができる。 ・簡単なビジネス文書が作れる。 ・簡単な案内状が作れる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目	学習到達目標
7	11	18	月	2	長谷川	第1実習室	表計算(1)	<ul style="list-style-type: none"> • Excelを起動し、簡単な計算表を作成・保存して終了させることができる。 • 保存した計算表を開き更新することができる。 • タブとボタンの機能を理解する。
8	11	25	月	2	長谷川	第1実習室	表計算(2)	<ul style="list-style-type: none"> • 簡単な計算式が使える。 • 簡単な関数を利用できる。 • 相対参照と絶対参照の違いを理解し、セルのコピーが適切にできる。 • データシート作成に必要な書式・挿入等の機能を使用できる。
9	12	2	月	2	長谷川	第1実習室	表計算(3)	<ul style="list-style-type: none"> • 使用頻度の高い関数を支障なく使用できる。 • データの並べ替えができる。 • レコードの抽出ができる。 • グラフを作成できる。
10	12	9	月	2	長谷川	第1実習室	表計算(4)	<ul style="list-style-type: none"> • 作成した表やグラフをカスタマイズできる。 • 作成したデータベースについて、表計算やグラフ作成ができる。

第1学年 外国語(英語)

時間数	30時間 (2時間×15回)
担当者	教養教育センター 外国語学科(英語分野) 講師 柳谷 千枝子
一般目標	英語で健康と医療に関する知識を修得することで、将来歯科衛生士として活躍する際に必要な技能を身につけ、活用することができる。また、国際社会の一員として、異文化に対する理解を深めることができる。
成績評価	定期試験(70%)、小テスト(20%)、提出課題(5%)、参加態度(5%)
教科書	医療と看護の総合英語 [三訂版] Take Care! (三修社、2017)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目	学習到達目標
1	4	10	水	2	柳谷	Unit 1: What Worries Barbara?	<ul style="list-style-type: none"> 英語で自己紹介文を書き、正確に伝達できる。 正しい発音で英語を読み、本文の内容を要約できる。
2	4	17	水	2	柳谷	Unit 1: What Worries Barbara?	<ul style="list-style-type: none"> 英語の音声を聴いて、会話の内容を理解できる。 文法やイディオム、医療英語(医療関係の職業)を学習し、英語で表現できる。
3	4	24	水	2	柳谷	Unit 2: That's Mama's Hair!	<ul style="list-style-type: none"> がん治療の副作用に関する英文を読んで、自分の考えをまとめることができる。 正しい発音で英語を読み、本文の内容を要約できる。
4	5	1	水	2	柳谷	Unit 2: That's Mama's Hair!	<ul style="list-style-type: none"> 英語の音声を聴いて、会話の内容を理解できる。 文法やイディオム、医療英語(身体)を学習し、英語で表現できる。
5	5	15	水	2	柳谷	Unit 4: Right or Left?	<ul style="list-style-type: none"> 右脳と左脳に関する英文を読んで、それぞれの働きを説明できる。 正しい発音で英語を読み、本文の内容を要約できる。
6	5	22	水	2	柳谷	Unit 4: Right or Left?	<ul style="list-style-type: none"> 英語の音声を聴いて、会話の内容を理解できる。 文法やイディオム、医療英語(内臓)を学習し、英語で表現できる。
7	5	29	水	2	柳谷	Dental Topics (ハンドアウト)	<ul style="list-style-type: none"> 歯の健康に関する英文を読んで、内容を説明できる。 歯に関する様々な語彙を学習し、英語で表現できる。
8	6	5	水	2	柳谷	Unit 5: How to Give First Aid	<ul style="list-style-type: none"> 応急手当に関する英文を読んで、処置の手順を説明できる。 正しい発音で英語を読み、本文の内容を要約できる。
9	6	12	水	2	柳谷	Unit 5: How to Give First Aid	<ul style="list-style-type: none"> 英語の音声を聴いて、会話の内容を理解できる。 文法やイディオム、医療英語(症状、痛み)を学習し、英語で表現できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目	学習到達目標
10	6	26	水	2	柳谷	Unit 9: Living a Healthy Life	<ul style="list-style-type: none"> 健康的な生活習慣に関する英文を読んで、それらを具体的に列挙できる。 正しい発音で英語を読み、本文の内容を要約できる。
11	7	3	水	2	柳谷	Unit 9: Living a Healthy Life	<ul style="list-style-type: none"> 英語の音声を聴いて、会話の内容を理解できる。 文法やイディオム、医療英語(病気)を学習し、英語で表現できる。
12	7	10	水	2	柳谷	Unit 11: Is Hepatitis B Curable?	<ul style="list-style-type: none"> 病気の治療と治癒に関する英文を読んで、それぞれの違いを説明できる。 正しい発音で英語を読み、本文の内容を要約できる。
13	7	17	水	2	柳谷	Unit 11: Is Hepatitis B Curable?	<ul style="list-style-type: none"> 英語の音声を聴いて、会話の内容を理解できる。 文法やイディオム、医療英語(薬剤関連)を学習し、英語で表現できる。
14	7	24	水	2	柳谷	Dental Topics (ハンドアウト)	<ul style="list-style-type: none"> 歯の健康に関する英文を読んで、内容を説明できる。 歯に関する様々な語彙を学習し、英語で表現できる。
15	8	21	水	2	柳谷	前期復習 & Writing	<ul style="list-style-type: none"> 前期に学習したトピックに関する問いに、英語で解答できる。 前期に学習したトピックに関して、自身の考えや意見を英語で表現できる。

第1学年 解剖学

時間数	30時間 (2時間×13回(講義) 2時間×2回(実習))
担当者	解剖学講座 機能形態学分野 教授 藤原 尚樹
一般目標	ヒトの身体を構成する器官系と各器官の関連性について理解する。 各器官や組織の成り立ちや解剖学的特徴について機能と関連させて理解する。 歯科衛生士として理解しておくべき医療行為あるいは歯科治療と密接に関わる部位や器官・組織について解剖学的特徴を理解する。
成績評価	中間試験、定期試験の成績と提出物で総合評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ「人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学」(医歯薬出版) 口腔顎顔面解剖ノート 第2版(学建書院)
参考書	みえる人体 構造・機能・病態(南江堂)

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	11	木	1	藤原	解剖学総論 骨学総論 1) 骨組織の基本構造と発生 2) 骨の連結と分類 (一. I-4-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ・身体の区分、解剖学的方向用語、器官系について説明できる。 ・骨の形と構造、骨の発生と成長、骨の連結について説明できる。
2	4	18	木	1	藤原	人体の骨と筋1 1) 体幹の骨格 2) 胸部、腹部、背部の筋 (一. I-4-A~C、 II-6-A~D)	<ul style="list-style-type: none"> ・脊柱、胸郭の骨と連結について説明できる。 ・胸部、腹部、背部を構成する筋の種類と機能について説明できる。
3	4	25	木	1	藤原	人体の骨と筋2 1) 上肢の骨格 2) 上肢の筋 (一. I-4-A~C、 II-6-A~D)	<ul style="list-style-type: none"> ・上肢を構成する骨の形態的特徴と連結について説明できる。 ・上肢を構成する筋と動作との関係について説明できる。 ・筋肉注射を打つ部位とその基準点について説明できる。
4	5	2	木	1	藤原	人体の骨と筋3 1) 下肢の骨格 2) 下肢の筋 (一. I-4-A~C、 II-6-A~D)	<ul style="list-style-type: none"> ・下肢を構成する骨の形態的特徴と連結について説明できる。 ・下肢を構成する筋と動作との関係について説明できる。 ・筋肉注射を打つ部位とその基準点について説明できる。
5	5	16	木	1	藤原	循環器系 1 1) 脈管系の概要 2) 心臓の構造 3) 心臓に出入りする血管 (一. I-2-A・B、 II-4-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・体循環と肺循環について説明できる。 ・血管の種類と構造について説明できる。 ・心臓の位置、構造と各部屋の役割について説明できる。 ・心臓壁の血管と刺激伝導系について説明できる。 ・心臓に出入りする血管とその中を流れる血液の性状を関連付けて説明できる。
6	5	23	木	1	藤原	循環器系 2 1) 全身の主要な動脈 2) 全身の主要な静脈 3) 胎児循環 4) リンパ性器官 (一. I-2-A・B、 II-4-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・全身の主要な動脈の走行と分布範囲を説明できる。 ・全身の主要な静脈の走行と側副循環について説明できる。 ・胎児循環とその特異性について説明できる。 ・リンパ性器官の種類と機能について説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
7	5	30	木	1	藤原	神経学 1 1) 神経系の概要 2) 中枢神経系 (一. I-5-A~C、 II-7-A~D)	<ul style="list-style-type: none"> ニューロンの構成とグリア細胞の種類について説明できる。 延髄、橋、中脳、小脳、脊髄の構造的及び機能的特徴について説明できる。 大脳の構造と機能について説明できる。 脳室と髄膜について説明できる。
8	6	6	木	1	藤原	中間試験	<ul style="list-style-type: none"> 骨学、筋学、循環器系で学んだ内容について振り返り、定着を図る。
9	6	13	木	1	藤原	神経系 2 1) 脊髄神経 2) 脳神経 3) 自律神経 (一. I-5-C、II-7-C)	<ul style="list-style-type: none"> 主な脊髄神経の種類と機能について説明できる。 12種類の脳神経の主要な機能について説明できる。 自律神経と脳神経の関係性について説明できる。
10	6	20	木	1	藤原	内臓学 1 1) 消化管 2) 消化管の付属器 (一. I-7-A)	<ul style="list-style-type: none"> 口腔から肛門までの消化管の構成と解剖学的特徴について説明できる。 肝臓、膵臓の機能と解剖学的特徴について説明できる。
11	6	27	木	1	藤原	内臓学 2 1) 呼吸器系 2) 泌尿器系 (一. I-3-A、8-A)	<ul style="list-style-type: none"> 気道の構成と肺胞の機能について説明できる。 口腔と鼻腔、咽頭、喉頭の構造的関係性について説明できる。 泌尿器系の構成と各器官の機能と解剖学的特徴について説明できる。 尿生成について関係する構造と仕組みについて概略を説明できる。
12	7	4	木	1	藤原	内臓学 3 1) 生殖器系 2) 内分泌腺 (一. I-9-A、10-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 男性および女性生殖器の概要について説明できる。 受精と着床についての概略、精子と精液の形成の概要について説明できる。 内分泌器官の種類と位置を説明できる。 各内分泌細胞から産生されるホルモンと機能について概略を説明できる。
13	7	11	木	1	藤原	感覚器系 1) 聴覚器・平衡器 2) 視覚器 3) 外皮 4) 味覚器 5) 嗅覚器 (一. I-6-A・B、 II-8-A~C)	<ul style="list-style-type: none"> 外耳、中耳、内耳の構造と解剖学的特徴を説明できる。 聴覚と平衡覚の感覚細胞の存在部位と特徴について説明できる。 眼球の構造について説明できる。 視細胞の種類と特徴、盲点との関係について説明できる。 味覚器と嗅覚器の存在場所と神経支配について説明できる。
14 ・ 15	8	22	木	3 ・ 4	藤原	人体解剖実習 (矢巾キャンパス)	<ul style="list-style-type: none"> 口腔だけでなく全身を構成する骨、筋、血管、神経、臓器についてご遺体を観察する事で三次元的なイメージを定着させ、座学で学修した知識と統合して各特徴を説明できる。

第1学年 組織・発生学

時間数	20時間(2時間×10回(講義))
担当者	解剖学講座 発生生物・再生医学分野 特任教授 大津 圭史 解剖学講座 発生生物・再生医学分野 講師 池崎 晶二郎
一般目標	・人体を構成する細胞や組織の基本的な構造を理解する。 ・人体の発生、特に顎顔面の発生について理解する。 ・歯牙と歯周組織および口腔内諸組織の構造について理解する。
成績評価	筆記試験で総合評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ「人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学」 歯科衛生学シリーズ「歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	17	水	1	池崎	細胞の構造と機能 人体を構成する基本組織 上皮と結合組織 (一. I-1-C、 二. II-2-A・C)	・細胞の微細構造とその機能を理解す ・人体を構成する組織の種類とその特徴を理解する。 ・上皮と結合組織とは何かを理解する。
2	4	24	水	1	池崎	口腔粘膜 舌 (二. I-1-B)	・口腔粘膜の特徴について理解する。 ・舌乳頭の種類と味蕾の機能と構造を理解する。
3	5	1	水	1	池崎	唾液腺・顎関節 (二. I-1-C、II-1-D、 I-1-F-c)	・唾液腺の基本構造と三大唾液腺について理解する。 ・顎関節の構造を理解する。
4	5	15	水	1	池崎	エナメル質・象牙質・歯髄 (二. I-2-B-a、b、 II-2-A・B)	・エナメル質、象牙質、歯髄の構造を理解する。
5	5	22	水	1	池崎	歯周組織1 (セメント質・歯根膜・歯槽骨) (二. I-2-B-c、d、 II-2-C)	・セメント質、歯根膜、歯槽骨の構造を理解する。
6	5	29	水	1	歯肉	歯周組織2 (歯肉) (二. I-2-B-e)	・歯肉の構造について理解する。
	6	5	水	1	池崎	中間試験	
7	6	12	水	1	池崎	歯と歯周組織の発生1 (二. I-3-C)	・歯胚の初期発生について理解する。 ・エナメル質、象牙質の形成について理解する。
8	6	26	水	1	池崎	歯と歯周組織の発生2 (二. I-3-C)	・歯根形成と萌出に伴った周囲組織の変化について理解する。
9	7	3	水	1	池崎	発生学 (一. I-12-A~C)	・胚葉に由来する構造について理解す ・受精～胚子の成長の過程を理解す
10	7	10	水	1	池崎	頭頸部の発生学 (二. I-3-A, B)	・鰓弓由来の構造について理解する。 ・顎顔面、口蓋、舌の発生について理
演習	8	27	火	3・4	大津 池崎	組織・発生学実習 歯、歯胚、歯周組織の観察 (矢巾キャンパス)	・顕微鏡を使って歯、歯胚、歯周組織の組織標本を観察し講義で学んだことを確認する。

第1学年 生理学

時間数	15時間 (2時間×8回)
担当者	生理学講座 病態生理学分野 助教 加藤 哲也
一般目標	生理学は生命現象のメカニズムを研究する学問である。人体は細胞から構成され、細胞が集まって組織、器官が作られる。それらが構造的、機能的に統合されて人体となる。生理学では人体のこれら各レベルでの正常な働きを講義する。このような一般的な生体の機能を学んだ上で、さらに、歯科医学の基礎として口腔生理学を学ぶ。
成績評価	70%以上の出席を必須とし、筆記試験の成績により評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ「人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学」 (医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	16	火	3	加藤	生理学概論 (一. I-1-C, 4-A・C II-2-A, 7-A~C)	<ul style="list-style-type: none"> ・生理学とは？を概説できる ・神経系の構成について説明できる ・細胞の構造を説明できる ・膜電位を説明できる
2	4	30	火	3	加藤	神経系 (一. I-4-A~C II-7-A~D)	<ul style="list-style-type: none"> ・神経細胞の構造と機能を説明できる ・シナプス伝達を説明できる ・中枢と末梢神経の働きを説明できる ・自律神経系の働きを説明できる
3	5	7	火	3	加藤	感覚(特殊感覚) (一. I-6A, II-8-AB)	<ul style="list-style-type: none"> ・感覚の一般的な性質を説明できる ・特殊感覚の種類を説明できる ・視覚と味覚を説明できる
4	5	14	火	3	加藤	感覚(体性感覚)と運動機能 (一. I-5-A~C, 6B II-6-A~D, 8-A・C)	<ul style="list-style-type: none"> ・体性感覚の種類を説明できる ・体性感覚の受容器を説明できる ・筋紡錘の役割を説明できる ・筋収縮の様式を説明できる
5	5	21	火	3	加藤	内分泌 (一. I-9-A, II-11-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ・ホルモンの分泌器官とホルモンの種類を列記し、それぞれの機能について説明できる。 ・ホルモンの種類を説明できる。
6	6	4	火	3	加藤	循環 (一. I-2-A, II-4-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・心臓の血液循環を説明できる ・刺激伝導系を説明できる ・心電図を説明できる ・心臓の調節機構を説明できる
7	6	11	火	3	加藤	呼吸 (一. I-3-A, II-5-A~C)	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸器の概要を説明できる。 ・換気を説明できる ・酸素と二酸化炭素の運搬を説明できる ・呼吸の調節機構を説明できる
8	6	18	火	3	加藤	腎臓と体液 (一. II-10-AB)	<ul style="list-style-type: none"> ・腎臓の概要を説明できる ・ネフロンを図示できる ・糸球体濾過を説明できる ・尿細管での再吸収と分泌を説明できる ・体液の区分を説明できる
	8	20	火	3	加藤	演習	

第1学年 口腔解剖学

時間数	45時間 (2時間×21回(講義) 2時間×2回(実習))
担当者	解剖学講座 機能形態学分野 教授 藤原 尚樹
一般目標	口腔周囲や頭頸部の表面構造だけでなくそれらを裏打ちする筋肉、脈管及び神経の走行と機能や手術時の留意点などの関係性について理解する。 歯を表わす記号や方向用語、歯の形態、好発する異常形態、咬合や歯の排列の正常構造を学修し、歯を鑑別できるように各特徴を理解する。 歯科衛生士として口腔領域及び歯についての形態学的知識が重要であるだけでなく、臨床科目の理解において礎となっていることを理解する。
成績評価	中間試験と定期試験の成績と提出物で総合評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ 「歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」(医歯薬出版) 「口腔顎顔面解剖ノート」(学建書院)
参考書	「口腔の機能と解剖」(南山堂)、「新しい歯の教科書」(池田書店)

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	15	月	1	藤原	口腔・口唇 1) 口腔の区分と粘膜 2) 固有口腔(口蓋) 3) 口腔底 (二. I-1-B-a~d)	<ul style="list-style-type: none"> 口腔の構造の区分と各部位の名称について説明できる。 口蓋粘膜を裏打ちする構造について説明できる。 口腔底の構造について説明できる。
2	4	15	月	2	藤原	内臓学 1 1) 舌 2) 唾液腺(口腔腺) (一. I-1-B・C 二. I-1-B・C)	<ul style="list-style-type: none"> 舌の区分と舌の上面、舌下面の構造、名称、舌筋の種類について説明できる。 唾液腺の分泌を支配する神経や栄養血管、排泄管の解剖学的特徴について説明できる。
3	4	22	月	1	藤原	内臓学 2 1) 鼻腔 2) 咽頭 (二. I-1-D・E)	<ul style="list-style-type: none"> 鼻腔の構造について説明できる。 咽頭の構造と筋肉の配置について説明できる。
4	4	22	月	2	藤原	頭蓋の全景 1) 頭蓋の縫合と結合 2) 頭蓋底、眼窩 脳頭蓋 1) 側頭骨、蝶形骨 2) 後頭骨、篩骨 (二. I-1-F)	<ul style="list-style-type: none"> 頭蓋骨を構成する骨について説明できる。 頭蓋に見られる縫合と結合、これらの発生に伴う変化について説明できる。 頭蓋の区分、頭蓋底や眼窩に見られる構造について説明できる。 側頭骨と蝶形骨の構造について説明できる。 後頭骨と篩骨の構造について説明できる。
5	5	13	月	1	藤原	顔面頭蓋 1 1) 上顎骨 2) 口蓋骨 3) 頬骨 (二. I-1-F)	<ul style="list-style-type: none"> 上顎骨、口蓋骨、頬骨の構造と各部位の名称について説明できる。 翼口蓋窩、鼻腔及び上顎洞について解剖学的特徴を説明できる。
6	5	13	月	2	藤原	顔面頭蓋 2 1) 下顎骨 2) 舌骨 (二. I-1-F)	<ul style="list-style-type: none"> 下顎骨の構造と各部位の名称について説明できる。 舌骨の位置と付着する筋肉について説明できる。
7	5	20	月	1	藤原	頭頸部の筋1 1) 発生的背景 2) 表情筋 3) 咀嚼筋 (二. I-1-G)	<ul style="list-style-type: none"> 頭頸部の筋の発生的背景について説明できる。 表情筋、咀嚼筋の種類、走行と機能について説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
8	5	20	月	2	藤原	頭頸部の筋2 1) 舌骨上筋群 2) 舌骨下筋群 3) 筋隙 (二. I-1-G)	<ul style="list-style-type: none"> 舌骨上筋群・舌骨下筋群の種類と機能、神経支配について説明できる。 舌下隙、顎下隙、オトガイ下隙、翼突下顎隙と筋の関係について説明できる。
9	5	27	月	1	藤原	顎関節 1) 顎関節の構造 2) 顎関節の運動と制限 (二. I-1-F・G)	<ul style="list-style-type: none"> 顎関節を構成する骨、動作に関わる筋肉、関係する神経、脈管について説明できる。 顎運動を制限する構造について説明できる。
10	5	27	月	2	藤原	脈管学 1 1) 内頸動脈、外頸動脈 2) 頭頸部の栄養血管 (二. I-1-H)	<ul style="list-style-type: none"> 内頸動脈と外頸動脈の分岐について説明できる。 舌動脈、顔面動脈、顎動脈、浅側頭動脈の走行と分布範囲について説明できる。
11	6	3	月	1	藤原	脈管学 2 1) 静脈 2) リンパ系 (二. I-1-H)	<ul style="list-style-type: none"> 内頸静脈、外頸静脈の走行について説明できる。 頭頸部のリンパ節、扁桃について説明できる。
12	6	3	月	2	藤原	神経学 1 1) 脳神経 I、II、III、IV、V V2、VI、VIII、XII (二. I-1-I)	<ul style="list-style-type: none"> 脳神経の分類と概略について説明できる。 特殊感覚神経について説明できる。 動眼、滑車、外転、舌下神経について説明できる。 眼神経、上顎神経について説明できる。
13	6	10	月	1	藤原	神経学 2 1) 脳神経 V3、VII、IX、X、XI 2) 頭頸部の自律神経 (二. I-1-I)	<ul style="list-style-type: none"> 下顎神経について説明できる。 顔面神経について説明できる。 舌咽、迷走、副神経について説明できる。 頭頸部の自律神経について説明できる。
14	6	10	月	2	藤原	歯の解剖学総論 1) 歯とは 2) 歯の形態 3) 歯の記号と歯式 (二. I-2-A・C)	<ul style="list-style-type: none"> 歯の定義、交換について説明できる。 歯で用いる記号、方向用語、歯の排列や咬合に関わる用語について説明できる。 歯に共通する形態的特徴について説明できる。
15	6	17	月	1	藤原	永久歯 1 1) 切歯 2) 犬歯 (二. I-2-A・C)	<ul style="list-style-type: none"> 切歯、犬歯の形態的特徴を理解し、前歯部の歯種について鑑別できる。
16	6	17	月	2	藤原	永久歯 2 1) 小臼歯 (二. I-2-A・C)	<ul style="list-style-type: none"> 小臼歯の形態的特徴を理解し、小臼歯の鑑別ができる。
17	6	24	月	1	藤原	中間試験	<ul style="list-style-type: none"> 口腔解剖学で学んだ内容について振り返り、定着を図る。
18	7	1	月	1	藤原	永久歯 3 1) 大臼歯 2) 永久歯の歯髓腔 (二. I-2-A~C)	<ul style="list-style-type: none"> 大臼歯の形態的特徴を理解し、大臼歯の鑑別ができる。 歯髓腔の形状について特徴を説明できる。
19	7	1	月	2	藤原	乳歯 1) 乳切歯 2) 乳犬歯 3) 乳臼歯 (二. I-2-A・C)	<ul style="list-style-type: none"> 永久歯と乳歯の形態学的特徴の違いを説明できる。 乳歯の歯種別の形態的特徴を説明できる。 乳歯の歯種について鑑別できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
20	7	8	月	1	藤原	歯列と咬合 1)咬合と接触関係 2)歯列弓と歯間隙 3)顎骨と歯列弓の関係 (二. I-2-D)	<ul style="list-style-type: none"> 咬合と歯列弓について説明できる。 咬合彎曲、顎骨と歯列弓の関係について説明できる。 歯間隙と鼓形空隙について説明できる。
21	7	8	月	2	藤原	歯の異常 1)歯数の異常 2)歯の大きさおよび形態の異常 3)位置や萌出の異常 4)癒合歯、癒着歯、双生歯 (三. I-9-A~F)	<ul style="list-style-type: none"> 歯に関わる数や形態に関する異常について好発する歯種や発現部位について説明できる。 癒合歯、癒着歯、双生歯について違いを説明できる。
22 ・ 23	8	19	月	1 ・ 2	藤原	人体骨学実習 (矢巾キャンパス)	<ul style="list-style-type: none"> 口腔のみならず全身を構成する骨の形態や配置を観察し、身体の動作と各骨の関連性について説明できる。 頭頸部の治療、骨再建手術に関係する骨の形態的特徴について説明できる。

第1学年 口腔生理学

時間数	16時間（2時間×8回）
担当者	生理学講座 病態生理学分野 助教 加藤 哲也
一般目標	生理学は生命現象のメカニズムを研究する学問である。人体は細胞から構成され、細胞が集まって組織、器官が作られる。それらが構造的、機能的に統合されて人体となる。生理学では人体のこれら各レベルでの正常な働きを講義する。このような一般的な生体の機能を学んだ上で、さらに、歯科医学の基礎として口腔生理学を学ぶ。
成績評価	70%以上の出席を必須とし、筆記試験の成績により評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ「歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」（医歯薬出版）
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	9	30	月	3	加藤	消化と吸収 (一. I-7-A, II-9-A~E)	<ul style="list-style-type: none"> ・消化管の構造を説明できる ・消化と吸収の種類を列記できる ・4大栄養素を説明できる ・胃での消化を説明できる ・小腸での消化・吸収を説明できる
2	10	7	月	3	加藤	口腔感覚 (二. II-1-A・B, 2-B・D)	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔内の感覚受容器の種類と分布を説明できる ・動水力学説について説明出来る ・歯根膜感覚について説明出来る
3	10	21	月	3	加藤	味覚と嗅覚 (二. II-1-B・C)	<ul style="list-style-type: none"> ・化学受容の特徴を説明できる ・味覚の受容機構を説明できる ・舌の構造を説明できる ・嗅細胞の特徴を説明できる ・嗅覚の受容機構を説明できる
4	10	28	月	3	加藤	顎運動と咀嚼運動 (二. I-G, II-2-D)	<ul style="list-style-type: none"> ・顎運動に関与する筋を列挙できる ・咀嚼筋の神経支配を説明できる ・下顎位を説明出来る ・下顎運動を説明出来る ・開口反射を図示して説明できる ・閉口反射を図示して説明できる ・咀嚼運動について説明できる。
5	11	11	月	3	加藤	唾液 (二. I-C, II-1-D)	<ul style="list-style-type: none"> ・大唾液腺の種類と特徴を説明できる ・安静時唾液と反射唾液を説明できる ・唾液腺の神経支配を説明できる ・唾液生成・分泌機序を説明できる
6	11	18	月	3	加藤	嚥下と嘔吐 (二. II-1-E・F)	<ul style="list-style-type: none"> ・咽頭部の解剖を説明できる ・嚥下運動の神経機構を説明できる ・鼻咽腔閉鎖機能を説明できる ・嚥下の5期を列挙し説明できる ・嘔吐の神経機構を説明できる
7	11	25	月	3	加藤	発声と構音 (二. II-1-G)	<ul style="list-style-type: none"> ・音声信号の特徴を説明できる ・声帯の開閉機構を図示できる ・喉頭原音の生成を説明できる ・各種母音の構音機序を説明できる ・気流雑音を説明できる ・各種子音の構音機序を説明できる
8	12	2	月	3	加藤	演習講義 1) 知識の定着 2) 問題解決能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・講義で理解できなかった項目を列挙する。 ・学習方法を説明できる。 ・理解した項目を身に付ける。
演習	1	20	月	3	加藤	まとめ	

第1学年 病理学・口腔病理学

時間数	30時間（2時間×15回）
担当者	病理学講座 病態解析学分野 教授 入江 太朗 病理学講座 病態解析学分野 特任講師 衣斐 美歩
一般目標	病理学は疾病の原因、発生機序などを究明する学問であり、基礎医学と臨床医学に密に関連している分野である。ここでは、歯科衛生士として必要となる病理学の基礎、疾病の理論、口腔病変の概要についての知識を習得する。
成績評価	筆記試験の成績で評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ 「疾病の成り立ち及び回復過程の促進1 病理学・口腔病理学」（医歯薬出版） 「臨床検査」（医歯薬出版）
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	6	25	火	2	入江	病理学序論と病因論 1) 病理学の目的・内容 2) 内因と外因 遺伝性疾患と奇形 1) 遺伝性疾患および染色体の異常による疾患 2) 奇形 口腔領域の奇形 (三. I-1-A・B, 2-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生士として病理学的知識の必要性を理解する。 ・病因の種類(主因、副因、誘因)を説明できる。 ・遺伝の基本概念と遺伝性疾患について説明できる。 ・奇形の種類と原因を説明できる。 ・口腔領域の奇形について説明できる。
2	7	2	火	2	入江	循環障害 1) 循環血液量の障害 2) 閉塞性の循環障害 (三. I-4-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ・循環障害の状態と原因、歯科臨床との関わりについて説明できる。
3	7	9	火	2	衣斐	代謝障害と退行性病変 1) 変性 2) 萎縮 3) 壊死 4) アポトーシス (三. I-3-A~C)	<ul style="list-style-type: none"> ・物質の代謝障害によって起こる退行性病変の概要について説明できる。
4	7	16	火	2	入江	増殖と修復 1) 肥大と増生 2) 再生と創傷治癒 3) 肉芽組織 4) 器質化 (三. I-5-A~E)	<ul style="list-style-type: none"> ・細胞、組織の機能亢進によって起こる病変について説明できる。 ・病変の修復と創傷治癒について説明できる。
5	7	23	火	2	衣斐	炎症 1) 炎症の原因と分類 2) 炎症の経過 3) 炎症の各型 (三. I-6-A~D)	<ul style="list-style-type: none"> ・炎症の定義について説明できる。 ・炎症の5大徴候について説明できる。 ・炎症の経過について説明できる。 ・炎症の各型について説明できる。
6	8	20	火	2	衣斐	免疫応答異常 1) 免疫反応に関与する組織系と細胞 2) 免疫応答 3) 免疫の種類 4) アレルギー (三. I-7-A、 II-4-A~E)	<ul style="list-style-type: none"> ・免疫の機構について説明できる。 ・アレルギー反応の種類とその疾患について説明できる。 ・歯科領域におけるアレルギー疾患について説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
7	9	3	火	2	入江	腫瘍 1) 腫瘍の原因 2) 腫瘍の発生 3) 腫瘍の形態 4) 腫瘍の発育様式と 拡がり方 5) 分類 (三. I-8-A~D)	<ul style="list-style-type: none"> 腫瘍の定義について説明できる。 腫瘍の原因や形態について説明できる。 良性腫瘍と悪性腫瘍の発育様式、転移、再発、予後などについて違いを説明できる。
8	10	1	火	2	衣斐	歯の発育異常 1) 歯の大きさ・形の異常 2) 歯の構造や数の異常など 歯の損傷と着色・付着物 (三. I-9-A~F)	<ul style="list-style-type: none"> 歯の種々の異常について説明できる。 歯の損傷およびそれらの原因について説明できる。 歯の沈着物や着色の種類とそれらの沈着メカニズム、成り立ちについて説明できる。
9	10	8	火	2	入江	う蝕 1) 病因と分類 2) エナメル質う蝕 3) 象牙質う蝕 4) セメント質う蝕 (三. I-11-A~C、 II-10-A) 象牙質・歯髄複合体の病態 1) 象牙質の増生 2) 歯髄炎 (三. I-13-A~C、 I-12-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> う蝕の病因、主因と誘因について説明できる。 う蝕の分類、部位や進行度について説明できる。 修復象牙質の形成部位、生理的形成と病的形成の違いを説明できる。 歯髄炎の病因、病態および分類について説明できる。
10	10	15	火	2	入江	歯周組織の病態 1) 根尖性歯周炎 2) 歯周疾患 (三. I-14-A、15-A)	<ul style="list-style-type: none"> 根尖性歯周炎の病因、病態、感染経路、臨床所見を急性と慢性各々について説明できる。 歯肉炎と歯周炎の病因、臨床所見、病理組織所見について説明できる。
11	10	22	火	2	入江	口腔粘膜の病変 1) 局所性粘膜病変 2) 全身性疾患に伴う粘膜病変 (六. IV-1-C) 口腔領域の嚢胞 1) 歯原性嚢胞 2) 非歯原性嚢胞 (三. I-18-B)	<ul style="list-style-type: none"> 局所性粘膜病変について説明できる。 全身性疾患に伴う粘膜病変について説明できる。 嚢胞の定義について説明できる。 口腔領域に発生する嚢胞の成り立ちについて説明できる。
12	10	29	火	2	入江	口腔領域の腫瘍 1) 歯原性腫瘍 2) 非歯原性腫瘍 (三. I-18-C) 口腔癌 (六. IV-1-F)	<ul style="list-style-type: none"> 口腔領域に発生する腫瘍の臨床所見、組織所見について説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
13	11	5	火	2	入江	顎骨の病変 (六. IV-1-B・D・G) 唾液腺の病変 (三. I-18-A~C、 六-IV-1-H)	<ul style="list-style-type: none"> 顎骨病変について説明できる。 唾液腺の病変について説明できる。
14	11	12	火	2	衣斐	老化 1) 全身の老化 2) 口腔領域の老化 (三. I-4-B、 11-B、12-B)	<ul style="list-style-type: none"> 老化のメカニズムについて説明できる。 全身の老化について説明できる。 口腔領域、とくに歯周組織と歯の老化について説明できる。
15	11	19	火	2	入江	病理検査 1) 口腔領域における病理検査 2) 病理検査の実際 (六. I-4-C)	<ul style="list-style-type: none"> 病理検査の種類と方法について説明できる。 病理検体の採取方法と取り扱いについて説明できる。

第1学年 微生物学・口腔微生物学

時間数	30時間（2時間×11回(講義) 4時間×2(実習)）
担当者	微生物学講座 分子微生物学分野 教授 石河 太知 微生物学講座 分子微生物学分野 助教 三浦 利貴 微生物学講座 分子微生物学分野 非常勤講師 佐々木 実
一般目標	微生物は自然界に広く生息しており、その種類はウイルスから原虫まで多岐にわたる。ヒトは微生物との相互作用なくしては生存し得ない。しかし反面、ごく限られた微生物のみがヒトに対して病原性を発揮する。それゆえ、微生物学の講義は、まず医学全般に関連した微生物学と、宿主側の感染防御機構たる免疫学について行う。そのあとで齲蝕と歯周病の病因論を中心に、口腔微生物学・免疫学を学習する。
成績評価	筆記試験の成績と出席点で総合評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ「疾病の成り立ち及び回復過程の促進2 微生物学」 (医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	11	木	2	三浦	微生物学の発達と歴史 1) 微生物学と免疫学の発展 2) 化学療法の進歩 3) 口腔微生物学の発展 (三. II-1-A・B 6-F~I) 感染 1) 感染と発症 2) 微生物の病原性 3) 宿主抵抗性 4) 感染症の種類 5) 感染の経路 (三. II-3-A~E)	<ul style="list-style-type: none"> ・微生物学の発展と歴史について説明できる。 ・細菌の基本的性状について説明できる。 ・微生物の病原因子について説明でき、宿主の抵抗性について説明できる。 ・微生物の増加によって発病するまでの過程を、微生物側と宿主側の関連性で述べる。
2	4	18	木	2	三浦	微生物の一般性状 1) 細菌 2) リケッチア 3) クラミジア 4) 真菌 5) ウイルス 微生物の観察方法 1) 細菌の培養 2) 細菌の分類と同定 3) 顕微鏡観察法 4) 真菌および原虫 5) ウイルス、リケッチア、クラミジア (三. II-2-A・B 6-F~I)	<ul style="list-style-type: none"> ・微生物の遺伝について説明できる。 ・リケッチア、クラミジア、真菌、原虫の特徴について説明できる。 ・ウイルスの基本的性状について説明できる。 ・細菌、真菌およびウイルスの培養法について説明できる。 ・顕微鏡によるさまざまな観察法の特徴について説明できる。
3	4	25	木	2	三浦	病原微生物各論 1 1) グラム陽性球菌 2) グラム陰性球菌 3) グラム陰性桿菌 4) グラム陽性桿菌 (三. II-6-A~D)	<ul style="list-style-type: none"> ・医学および歯学領域の感染症の原因細菌とその性状について説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
4	5	2	木	2	三浦	病原微生物各論 2 5)スピロヘータ 6)マイコプラズマ 7)リケッチア 8)クラミジア 9)ウイルス 10)真菌 11)原虫 (三. II-6-E~K)	<ul style="list-style-type: none"> 医学および歯学領域の感染症の原因微生物とその性状について説明できる。
5	5	16	木	2	三浦	免疫 1)免疫の種類 2)免疫の機構 (三. II-4-A~E)	<ul style="list-style-type: none"> 免疫の概念と免疫現象の発現について説明できる。 試験管内での抗原抗体反応の種類と反応の原理、免疫に関与する細胞の種類とその機能について説明できる。
6	5	23	木	2	三浦	免疫 1)アレルギー 2)抗原抗体反応 (三. II-4-A~E)	<ul style="list-style-type: none"> 試験管内での抗原抗体反応の種類と反応の原理、免疫に関与する細胞の種類とその機能について説明できる。 アレルギーの種類と発現のメカニズムについて説明できる。
7	5	30	木	2	三浦	中間試験	
8	6	6	木	2	三浦	口腔環境と常在微生物 1)口腔内常在微生物 2)口腔環境 (三. II-7-A・B) 歯のバイオフィルム 1)プラーク 2)ペリクル・歯石 (三. II-8-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 口腔内常在微生物叢について説明できる。 口腔環境と常在微生物の関係について説明できる。 バイオフィルムとしてのプラークについて説明できる。 ペリクル・歯石について説明できる。
9	6	13	木	2	三浦	口腔感染症 1)口腔の感染症 2)齲蝕と微生物 3)歯周病と微生物 4)その他の口腔感染症 5)歯科診療上留意すべき 口腔外感染症 (三. II-10-A、11-A)	<ul style="list-style-type: none"> 口腔感染症としての齲蝕と歯周病について説明できる。 その他の口腔感染症の特徴とそれに関連する微生物について説明できる。
10	6	20	木	2	三浦	化学療法 1)化学療法とその作用機序 2)おもな化学療法剤 3)薬剤耐性 4)化学療法剤の副作用 (三. II-5-A) 滅菌と消毒 1)滅菌と消毒の定義 2)滅菌と消毒の方法 (三. II-9-A~C)	<ul style="list-style-type: none"> 化学療法剤の選択毒性・作用機序について説明できる。 おもな化学療法剤の特徴について説明できる。 薬剤耐性について説明できる。 化学療法剤の副作用について説明できる。 滅菌と消毒の違いについて説明できる。 実際の滅菌法について説明できる。 実際の消毒法あるいは消毒薬について説明できる。
11	6	27	木	2	三浦	病巣感染 院内感染 (三. II-3-E)	<ul style="list-style-type: none"> 病巣感染を説明できる。 院内感染を説明できる。 日和見感染・菌交代症を説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
12 5 15	8	27	火	1・2	石河 三浦 佐々木	実習 1)滅菌と消毒 2)培地の作製 3)細菌の培養法 4)手指の細菌と手洗い効果の比較 5)グラム染色法 6)集落の観察 7)口腔細菌の顕微鏡的観察 (矢巾キャンパス)	<ul style="list-style-type: none"> 実習を通して滅菌と消毒の違い、培地の作製、細菌の培養法、手指の細菌と手洗いの効果、口腔環境と口腔細菌について習得する。
	8	29	木	1・2			

第1学年 生化学・口腔生化学

時間数	20時間 (2時間×10回)
担当者	生化学講座 細胞情報科学分野 講師 横田 聖司
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生体を構成する物質の構造、機能、代謝の基礎的原理を理解する。 ・口腔領域に関する物質の構造と機能を生化学的に理解する。 ・臨床科目の生化学的側面を十分理解できるレベルを到達目標とする。
成績評価	筆記試験(演習試験含む)の成績(100%)で総合評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ「人体の構造と機能2 栄養と代謝」(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	16	火	4	横田	細胞と遺伝子 1)細胞小器官 2)遺伝子 3)セントラルドグマ (一. II-1-C、2-A・B 11-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ・生体を構成する物質について理解する。 ・細胞小器官の構造と役割を理解する。 ・遺伝情報の流れを理解する。
2	4	30	火	4	横田	糖質の代謝 1)糖質 2)解糖と糖新生 3)クエン酸回路 4)電子伝達系 5)グリコーゲン代謝と血糖調節 (一. II-1-C、2-E)	<ul style="list-style-type: none"> ・糖代謝の過程を理解する。 ・解糖と糖新生の役割を説明できる。 ・酸化的リン酸化を説明できる。 ・ATP生成について理解する。 ・血糖調節ホルモンを列挙し、その役割を説明できる。
3	5	7	火	4	横田	脂質とアミノ酸の代謝 1)脂質の分類 2)脂質の分解とATP生成 3)アミノ酸とタンパク質 4)アミノ酸の分解とATP生成 5)尿素サイクル (一. II-1-C、2-E)	<ul style="list-style-type: none"> ・脂質の構造と種類を説明できる。 ・脂質の分解からATP生成までを理解する。 ・タンパク質の構造とアミノ酸の種類を説明できる。 ・アミノ酸の分解からATP生成までを理解する。
4	5	14	火	4	横田	演習講義① 1)知識の定着 2)問題解決能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・講義で理解できなかった項目を列挙する。 ・学習方法を説明できる。 ・理解した項目を身に付ける。
5	5	21	火	4	横田	結合組織 1)コラーゲンとエラスチン 2)プロテオグリカン 3)接着タンパク 4)細胞外マトリックス成分の分解 (一. II-1-C、2-B・E、 二. II-2-C)	<ul style="list-style-type: none"> ・コラーゲンの構造、アミノ酸組成、種類と局在を説明できる。 ・コラーゲンの合成、分解の過程を理解する。 ・エラスチンについて説明できる。 ・プロテオグリカンについて説明できる。 ・歯周組織を上皮、軟・硬組織に区分し、その組成を理解する。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
6	5	28	火	4	横田	歯と骨の構成成分 1) 歯の無機成分 2) 歯の有機成分 3) 歯と骨の石灰化の特徴 4) カルシウムとリン酸代謝の調節機構 (二. II-2-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒドロキシアパタイトについて理解する。 ・エナメル質、象牙質、セメント質の有機成分について説明できる。 ・石灰化の仕組みと特徴を理解する。 ・副甲状腺ホルモン、カルシトニン、ビタミンDによるカルシウム・リン酸代謝の調節機構を説明できる。 ・歯の脱灰と再石灰化を理解する。
7	6	4	火	4	横田	演習講義② 1) 知識の定着 2) 問題解決能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・講義で理解できなかった項目を列挙する。 ・学習方法を説明できる。 ・理解した項目を身に付ける。
8	6	11	火	4	横田	唾液と歯の堆積物 1) 唾液の成分と作用 2) ペリクルの組成 3) プラークの組成と形成過程 4) 歯石の形成過程 (二. II-1-C、 四. I-4-A、5-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・唾液の無機成分、有機成分について理解する。 ・各唾液成分の機能と作用を説明できる。 ・ペリクル・プラークの組成と形成機構を理解する。 ・プラークの組成と形成機構を理解する。 ・歯石の組成と形成機構と性質を理解する。 ・菌体外多糖の生成過程を説明できる。
9	6	18	火	4	横田	歯周疾患の免疫 1) 口腔疾患と自然免疫系 2) 口腔疾患と獲得免疫系 (三. II-4-A~E)	<ul style="list-style-type: none"> ・自然免疫系に関与する細胞成分と局所に炎症をもたらす化学メディエーターについて理解する。 ・慢性炎症時に獲得免疫系に関与する細胞成分と、これらの細胞が分泌する免疫グロブリンやサイトカインについて理解する。 ・歯周疾患への免疫反応の関与について理解する。
10	6	25	火	4	横田	演習講義③ 1) 知識の定着 2) 問題解決能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・講義で理解できなかった項目を列挙する。 ・学習方法を説明できる。 ・理解した項目を身に付ける。

第1学年 口腔衛生学

時間数	40時間（2時間×20回）
担当者	教務主任 鈴木 奈津子 教員 金子 由美子 教員 鳥畑 美香
実務経験	歯科衛生士
一般目標	歯科医療には歯科疾患の治療を行うだけでなく、健康増進と疾患予防を支援し、国民の健康に寄与することが求められる。この国民の負託に応えることができる歯科衛生士となるために必要な知識を習得し、態度・技能を身につける。
成績評価	筆記試験の成績により評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ 「歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学」(医歯薬出版)
参考書	2024年度版 歯科衛生士書き込み式学習ノート②社会歯科系科目編(医歯薬出版)

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	8	21	水	1	鈴木	総論 (四. I-1-A・B III・IV-2-A～D)	<ul style="list-style-type: none"> 保健生態学の定義を説明できる。 健康の定義と国民の権利について説明できる。 プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションの概要を説明できる。 予防医学の概念を説明できる。 第一次、二次、三次予防の適用を説明できる。
2	8	30	金	1	鈴木	歯・口腔の構造 (二. I-1-B・C・F、 2-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 次の口腔の構造を説明できる(歯・歯周組織・口腔粘膜・舌・顎関節・唾液腺)
3	9	4	水	1	鈴木	口腔の発育と機能 口腔の健康と全身の健康 (四. I-2-A・B、 3-A～D)	<ul style="list-style-type: none"> 歯・口腔の形成過程を説明できる。 歯の萌出と交換を説明できる。 口腔と全身の健康との関係を説明できる。
4	9	11	水	1	金子	口腔環境 歯・口腔の不潔 (四. I-4-、5-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 唾液の作用を説明できる。 ペリクルを説明できる 歯・口腔の付着物、沈着物を説明できる。 舌苔について説明できる
5	10	2	水	1	金子	口腔清掃1 (四. II-1-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 口腔清掃の意義を説明できる。 口腔清掃法の種類を説明できる。
6	10	3	木	2	金子	口腔清掃2 (四. II-2-A～C、 5-A～C、八.1-A)	<ul style="list-style-type: none"> 人工的清掃法の分類と用具について説明できる。 染色剤について説明できる。
7	10	4	金	3	金子	ブラッシング (四. II-5-A～D)	<ul style="list-style-type: none"> 不適切な口腔清掃による為害作用を説明できる。 硬組織、軟組織への影響について説明できる。
8	10	9	水	1	金子	歯磨剤・洗口剤 (四. II-4-A・B、 八. III-1-B)	<ul style="list-style-type: none"> 歯磨剤・洗口剤の種類について説明できる。 歯磨剤・洗口剤の組成について説明できる

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
9	10	10	木	2	金子	演習講義 1)知識の定着 2)問題解決能力の向上	・講義で理解できなかった項目を列挙できる。 ・学習方法を説明できる ・理解した項目を身に付ける
10	10	25	金	3	鳥畑	う蝕予防の基礎 (四. I-1-B、4-A、 III-1-A~D)	・う蝕の発生要因を説明できる。 ・う蝕の発生機序を説明できる。 ・初期う蝕の再石灰化を説明できる。 ・う蝕病変の進行と症状を説明できる。
11	10	29	火	1	鳥畑	う蝕の第一次予防 (四. I-1-B、 III-2-A)	・う蝕病変の進行と症状を説明できる。 ・う蝕の第一次予防の手段と効果を説明できる。
12	11	5	火	1	鳥畑	う蝕の第二次・第三次予防 (四. I-1-B、 III-2-B~D)	・う蝕の第二次・第三次予防の手段を説明できる。 ・う蝕の進行防止と治療を説明できる。
13	11	6	水	1	鳥畑	歯とフッ化物 (四. I-1-B、 III-3-A~F)	・フッ化物の自然界の分布を説明できる。 ・フッ化物の摂取と代謝を説明できる。 ・フッ化物の毒性を説明できる。 ・フッ化物のう蝕予防機序を説明できる。
14	11	13	水	1	鳥畑	歯とフッ化物 (四. I-1-B、 III-3-A~F)	・次のフッ化物応用方法とその予防効果を説明できる(上水道へのフッ化物添加、飲食物へのフッ化物添加、フッ化物錠剤、フッ化物配合歯磨剤、フッ化物洗口法、フッ化物歯面塗布法)
15	11	13	水	3	鈴木	歯周疾患予防の基礎 (四. IV-1-A~F)	・歯周疾患の炎症の広がりや症状を説明できる。 ・歯周疾患の種類と原因を説明できる。 ・歯周疾患のリスクファクターを列挙できる。 ・歯周疾患の全身に与える影響を説明できる。
16	11	20	水	3	鈴木	歯周疾患の第一次予防 (四. IV-2-A~D)	・歯周疾患の予防法を列挙できる。
17	11	22	金	3	鈴木	歯周疾患の第二次・第三次予防 (四. IV-2-A~D)	・歯周疾患の予防と治療における処置を説明できる。 ・定期的予防処置の必要性を説明できる。
18	11	27	水	4	鈴木	その他の疾患・異常の予防1 (四. V-1-A~C、 3-A・D~F)	・不正咬合を起こす原因を列挙し、予防可能な要因について説明できる。 ・歯の咬耗、摩耗、アブフラクション、酸蝕の違いを理解し、それぞれの予防法を説明できる。 ・顎関節症の実態と予防法を説明できる。 ・口腔がんの実態と予防法を説明できる。 ・外来性色素による着色歯の原因と予防法を説明できる。
19	11	29	金	3	鈴木	その他の疾患・異常の予防2 (四. V-2-A~C)	・口臭の分類と検査法を説明できる。 ・口臭を起こす要因を列挙し、予防について説明できる。
20	12	4	水	4	鈴木	その他の疾患・異常の予防3 (四. V-3-G・H)	・口腔機能低下症の概念を理解し、予防法について説明できる。 ・歯の形成不全の原因を列挙できる。 ・口内炎の分類、要因と予防法を説明できる。 ・口腔乾燥症の要因と予防について説明できる。

第1学年 栄養学

時間数	30時間（2時間×15回）
担当者	教務主任 鈴木 奈津子
実務経験	歯科衛生士
一般目標	健康的な生活に必要な栄養・食生活を理解するために、栄養と食生活に関する基本的知識を習得する。
成績評価	客観評価
教科書	歯科衛生学シリーズ「人体の構造と機能2 栄養と代謝」（医歯薬出版） オールガイド五訂増補食品成分表2024（実教出版）
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	6	20	木	4	鈴木	栄養の基礎知識 1) 食生活と栄養 2) 日本人の栄養摂取状況 3) 国民健康・栄養調査 (八. V-1-A・C)	<ul style="list-style-type: none"> 食生活と健康との関連を概説できる。 現代人の食物の摂取における栄養上の問題点を列挙できる。 国民健康・栄養調査を概説できる。
2	6	28	金	2	鈴木	栄養素の消化と吸収 1) 消化作用の種類 2) 栄養素の消化 3) 栄養素の吸収 4) 栄養素の役割 (一. II-9-B~E)	<ul style="list-style-type: none"> 栄養素の種類を列挙できる。 消化と吸収の基本を説明できる。 栄養素の役割を説明できる。
3	7	3	水	4	鈴木	日本人の食事摂取基準 (八. V-1-C)	<ul style="list-style-type: none"> 食事摂取基準を説明できる。 エネルギー必要量を説明できる。 脂肪エネルギー比率を説明できる。 基礎代謝を説明できる。
4	7	10	水	4	鈴木	栄養素の働き① 1) 糖質の栄養的意味 (八. V-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> 糖質の生体での役割を概説できる。 糖質の摂取と健康との関連を説明できる。
5	7	11	木	3	鈴木	栄養素の働き② 1) タンパク質の栄養的意味 2) 脂質の栄養的意味 (八. V-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> タンパク質、脂質の生体での役割を概説できる。 タンパク質、脂質の摂取と健康との関連を説明できる。
6	7	23	火	1	鈴木	栄養素の働き③ 1) ビタミンの栄養的意味 2) ミネラルの栄養的意味 (八. V-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> ビタミンの種類と働きを概説できる。 ミネラルの種類と働きを概説できる。 ビタミン、ミネラルの摂取と健康との関連を説明できる。
7	8	20	火	1	鈴木	栄養素の働き④ 1) 水の栄養的意味 2) 食物繊維の栄養的意味 (八. V-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> 水の生体での役割を概説できる。 食物繊維の生体での役割を概説できる。 水、食物繊維の摂取と健康との関連を説明できる。
8	9	5	木	3	鈴木	中間試験	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
9	10	1	火	1	鈴木	食生活と健康① 1) 食生活改善の取り組み (八. V-1-C・D)	<ul style="list-style-type: none"> 国における食生活改善の取り組みについて概説できる。 保健機能食品について説明できる。
10	10	22	火	4	鈴木	食生活と健康② 1) 食事バランスガイドの活用 (八. V-1-C・D)	<ul style="list-style-type: none"> 食事バランスガイドについて説明できる。 食事バランスガイドを使って各自の食生活を評価できる。
11	10	31	木	2	鈴木	食生活と健康③ 1) 成長期 2) 成人期 (八. V-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> 各ライフステージ別の食生活の特徴を理解できる。 食事バランスガイドを使って各自の食生活を評価できる。
12	11	28	木	3	鈴木	食生活と健康④ 3) 高齢期 (八. V-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> 各ライフステージ別の食生活の特徴を理解できる。
13	12	17	火	1	鈴木	食生活と健康⑤ 1) 食品の役割 2) 食品の安全性 (八. V-1-C)	<ul style="list-style-type: none"> 食品の3つの機能について説明できる。 食品の安全性確保のための施策について説明できる。
14	1	14	火	1	鈴木	食生活と健康⑥ 3) 食品成分表 4) 食品群 5) 食品添加物 (八. V-1-B)	<ul style="list-style-type: none"> 食品成分表を説明できる。 食品群の種類と分類を説明できる。 食品添加物を説明できる。
15	1	16	木	2	鈴木	食品のう蝕誘発性 (八. V-1-D)	<ul style="list-style-type: none"> 甘味食品の種類と特徴を説明できる。 う蝕と甘味食品の関連について説明できる。

第1学年 歯科衛生士概論

時間数	15時間（2時間×8回）
担当者	教務主任 鈴木 奈津子
実務経験	歯科衛生士
一般目標	歯科医療職のチームの一員として、専門性・質の高い保健医療サービスの提供ができる歯科衛生士となるために、歯科衛生士の心構え・役割・期待される将来像について理解する。また、「歯科衛生士」という職種について、その成り立ちと歴史、法的な位置づけについて理解する。
成績評価	小テスト(10%)、定期試験(90%)で評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ「歯科衛生学総論」(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	10	水	1	鈴木	歯科衛生士とは	・歯科衛生士の定義を述べるができる。
2	4	16	火	1	鈴木	歯科衛生の歴史 (五. I - 1 - A・B, 6 - A・B)	・歯科衛生士誕生までの経緯と歯科衛生の歴史について説明できる。
3	5	31	金	2	鈴木	歯科衛生活動のための理論 (五. I - 3 - A)	・歯科衛生の実践は論理的でなければならない理由を述べるができる ・ICF、EBM、批判的思考を説明できる ・保健行動の理論を説明できる。
4	6	21	金	2	鈴木	歯科衛生過程 (五. I - 3 - A・B)	・歯科衛生過程を説明できる。 ・歯科衛生過程のプロセス、構成要素を列挙できる。 ・POS, SOAPを概説できる。
5	7	1	月	3	鈴木	歯科衛生士法と歯科衛生業務 (五. I - 1 - D, 2 - A~C)	・歯科衛生士を取り巻く法律についてポイントを説明できる。 ・歯科衛生業務の構成要素を説明できる。
6	7	4	木	2	鈴木	歯科衛生士と医療倫理 (五. I - 4 - A~C)	・社会のニーズに応えることのできる歯科衛生士像と、専門職としての自覚について説明できる。 ・インフォームド・コンセントにおける患者と保健医療者双方の権利と義務を説明できる。
7	7	19	金	4	鈴木	歯科衛生士の活動と組織 1) 歯科衛生活動の場 2) 歯科衛生活動の現況 3) 歯科衛生士と組織 (五. I - 1 - C, 6 - B)	・他職種との連携とチーム医療について概説できる。 ・専門職としての基本的アイデンティティを確立し発展させるための組織について説明ができる。
8	7	24	水	1	鈴木	海外における歯科衛生士 演習講義 1) 知識の定着 2) 問題解決能力の向上 (五. I - 6 - B)	・海外における歯科衛生士の現況を理解することができる。 ・講義で理解できなかった項目を列挙する。 ・学習方法を説明できる。 ・理解した項目を身に付ける。

第1学年 健康社会学

時間数	15時間（2時間×8回）
担当者	教員 金子 由美子
一般目標	人々を健康に導く保健医療従事者となるために、健康概念の変遷と現代の健康観を学び、人間生活と社会の関わりの中で生涯を通じた健康課題を思考する能力を身につける。
成績評価	筆答により評価する。
教科書	
参考書	歯科保健関係統計資料 歯科保健指導関係資料

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	9	30	月	4	金子	健康の概念 1)健康とは (四.VI-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> 健康の概念について説明できる。 グループワークで得られた意見を統合して発表できる。
2	10	7	月	4	金子	予防医学の概念 1)予防法の適用 (四.VI-1-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 予防医学の概念を説明できる。 グループワークで得られた意見を統合して発表できる。
3	10	21	月	4	金子	歯・口腔の健康と予防 1)口腔の健康 (四.VI-1-A～D)	<ul style="list-style-type: none"> 歯・口腔の健康保持増進する手段について概説できる。 グループワークで得られた意見を統合して発表できる。
4	10	28	月	4	金子	地域社会と地域保健の概念 1)地域社会と健康 (四.VI-1-A～D)	<ul style="list-style-type: none"> 地域保健の概念を説明できる。 グループワークで得られた意見を統合して発表できる
5	11	11	月	4	金子	健康づくり対策 1)健康日本21 2)健康増進法 (四.VI-1-A～D)	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり対策について説明できる。 グループワークで得られた意見を統合して発表できる
6	11	18	月	4	金子	健康行動 1)健康教育 (四.VI-1-A～D)	<ul style="list-style-type: none"> 健康教育について説明できる。 グループワークで得られた意見を統合して発表できる
7	12	2	月	4	金子	情報化社会における健康情報① 1)情報の選択と活用	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じた選択と必要性の判断ができる 科学的根拠や有効な活用方法について検証できる グループワークで得られた意見を統合して発表できる
8	12	11	水	4	金子	情報化社会における健康情報② 1)情報の選択と活用	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じた選択と必要性の判断ができる 科学的根拠や有効な活用方法について検証できる グループワークで得られた意見を統合して発表できる

第1学年 歯科臨床概論

時間数	30時間（2時間×15回）
担当者	教務主任 鈴木 奈津子
実務経験	歯科衛生士
一般目標	保存、補綴、矯正歯科、小児歯科および口腔外科治療の基本的な流れを中心に、それぞれの治療対象、治療目的および治療における歯科衛生士の役割等から、歯科診療の概要を理解する。
成績評価	中間試験(20%)と定期試験(80%)の成績により評価する。
教科書	
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	10	水	4	鈴木	歯科診療と歯科診療所 1) 歯科医療とは 2) 歯科診療所とその規模 3) 歯科診療所における業務 (九. I-1-A~C, 3-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科診療所で働くスタッフについて説明できる。 ・歯科診療所の業務について概説できる。
2	4	17	水	4	鈴木	ライフステージと歯科診療 主な診療の流れ① 1) 診査・検査・前処置 (九. I-1-A~C, 3-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージと歯科診療の関わりを理解できる。 ・歯科診療における審査・検査・前処置について理解することができる。
3	4	19	金	4	鈴木	主な診療の流れ② 1) 小児歯科 (六. VI-4-A~J)	<ul style="list-style-type: none"> ・小児歯科の特徴を概説できる。 ・小児に対する治療時の対応法を列挙できる。 ・小児歯科治療の内容を列挙できる。
4	4	25	木	4	鈴木	主な診療の流れ③ 1) 矯正歯科 (六. V-2-C・D, 3-A~C)	<ul style="list-style-type: none"> ・矯正歯科治療の特徴を概説できる。 ・不正咬合の種類を列挙できる。 ・矯正歯科治療の内容を列挙できる。
5	5	23	木	4	鈴木	主な診療の流れ④-1 1) 口腔外科 (六. IV-2-A~K)	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔外科治療の内容を概説できる。 ・外傷の種類と治療法を列挙できる。 ・口腔粘膜疾患の種類を列挙できる。
6	5	30	木	4	鈴木	主な診療の流れ④-2 1) 口腔外科 (六. IV-2-A~K)	<ul style="list-style-type: none"> ・普通抜歯、難抜歯の術式と使用する器具を説明できる。 ・口腔領域の悪性腫瘍の誘因を概説できる。
7	6	14	金	3	鈴木	主な診療の流れ⑤-1 1) 歯科保存 (六. II-1-A~G)	<ul style="list-style-type: none"> ・保存修復学が対象とする硬組織疾患を列挙できる。 ・直接修復と間接修復の違いを説明できる。
8	6	25	火	1	鈴木	主な診療の流れ⑤-2 1) 歯科保存 (六. II-2-A~K)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯内療法学とは何か概説できる。 ・歯髄保存療法と歯髄除去療法の種類を列挙できる。 ・ホワイトニングの種類を列挙できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
9	7	2	火	4	鈴木	中間試験	
10	7	16	火	1	鈴木	主な診療の流れ⑥-1 1) 歯周治療 (六. II-3-A~L)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯周病の原因因子を列挙できる。 ・歯周治療の流れを説明できる。 ・歯周病と全身疾患の関係を説明できる。
11	7	25	木	1	鈴木	主な診療の流れ⑥-2 1) 歯周治療 (六. II-3-A~L)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯周外科治療の内容を概説できる。 ・メインテナンスとSPTの違いを説明できる。
12	7	26	金	2	鈴木	主な診療の流れ⑦-1 1) 歯科補綴 (六. III-1-B, 2-A~E)	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウン作製の手順を説明できる。 ・CAD/CAMシステムについて概説できる。 ・インプラントの基本構造を説明できる。
13	9	2	月	3	鈴木	主な診療の流れ⑦-2 1) 歯科補綴 (六. III-1-B, 3-A・B, 4-A~C, 5-A~D)	<ul style="list-style-type: none"> ・有床義歯作製の手順を説明できる。 ・有床義歯の分類法を説明できる。
14	9	3	火	3	鈴木	主な診療の流れ⑧ 1) 障がい者歯科 (六. VIII-2-A~G, 2-A~C)	<ul style="list-style-type: none"> ・ノーマライゼーションとバリアフリーの概念を説明できる。 ・各種障害の種類と特徴を列挙できる。
15	9	11	水	3	鈴木	主な診療の流れ⑨ 1) 高齢者歯科 (六. VII-3-A~E, 4-A~D)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の特徴を概説できる。 ・高齢者に特有の口腔疾患を説明できる。

第1学年 う蝕治療学 I (保存修復学)

時間数	20時間 (2時間×10回)
担当者	歯科保存学講座 う蝕治療学分野 教授 野田 守 歯科保存学講座 う蝕治療学分野 助教 東 兼司
実務経験	歯科医師
一般目標	保存修復学の概要について学び、齶蝕治療とその修復法の種類、各修復法の特徴、術式、使用器材などに関する知識を習得する。
成績評価	筆記試験の成績で評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ「保存修復学・歯内療法学」(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時 限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1 ・ 2	10	4	金	1 ・ 2	野田	歯の保存療法の種類 1) 歯の保存療法と歯科保存学 2) 対象となる疾患 口腔診査 1 1) 基礎知識と前準備 2) 医療面接 3) 現症の診査 (六. I-1-A、2-A・B、 II-1-A・C)	<ul style="list-style-type: none"> 保存療法の対象となる疾患について学び、口腔内の検査に使われる歯式、歯面の表示法について説明できる。 保存療法の対象となる疾患の検査法について、種類と目的について説明できる。
3 ・ 4	10	18	金	1 ・ 2	東	保存修復学の意味と概要 1 1) 保存修復の適応症と禁忌症 2) 齶蝕症 3) 窩洞の分類と名称 4) 処置ステップの流れと概要 ①前準備処置 ②切削・形成法 (六. II-1-A・B・C・E)	<ul style="list-style-type: none"> 保存修復学の概要について学び、齶蝕の分類と名称、好発部位、窩洞の分類について説明できる。 保存修復学の処置の概要を学び、防湿法、歯間分離法などの術式や切削器具について説明できる。
5 ・ 6	10	25	金	1 ・ 2	東	コンポジットレジン修復 1) 特徴 2) 適応症 3) 手順 セメント修復 1) セメント修復の種類と用途 2) グラスアイオノマーセメント修復 3) 合着、裏装用セメント (六. II-1-D)	<ul style="list-style-type: none"> コンポジットレジン修復の概要について学び、その種類、操作上の注意点、術式、使用器材について説明できる。 セメント修復の概要について学び、その種類、操作上の注意点、術式、使用器材について説明できる。
7 ・ 8	11	1	金	1 ・ 2	東	鑄造修復 1) 鑄造修復とは 2) 適応症と禁忌症 3) 手順 審美的修復法 1) ポーセレンインレー 2) レジンインレー 3) ラミネートベニア (六. II-1-D)	<ul style="list-style-type: none"> 鑄造修復の概要について学び、適応症、禁忌症、術式について説明できる。 審美的修復法の適応症と禁忌症を説明できる。
9 ・ 10	11	8	金	1 ・ 2	野田	まとめ 修復物の維持管理 (六. II-1-G)	<ul style="list-style-type: none"> 修復物を口腔内で機能させるための歯科衛生士の役割を説明できる。

第1学年 う蝕治療学Ⅱ(歯内療法学)

時間数	20時間 (2時間×10時間)
担当者	歯科保存学講座 う蝕治療学分野 教授 野田 守 歯科保存学講座 う蝕治療学分野 助教 東 兼司
実務経験	歯科医師
一般目標	歯内療法関係疾患の概要と術式、使用器材、薬剤、および材料に関する知識を習得する。また、患者の症状や不快感などの訴えを理解し、その対応法について学ぶ。
成績評価	筆記試験の成績で評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ「保存修復学・歯内療法学」(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1 ・ 2	11	22	金	1 ・ 2	野田	歯内療法学の概要 1) 歯内療法学とは 2) 歯の痛み 3) 歯髄・根尖歯周組織疾患 歯科衛生士と歯内療法 1) 患者の症状に対する理解 2) 処置内容に対する理解 3) 治療後の患者管理 (六.Ⅱ-2-A~C)	<ul style="list-style-type: none"> 歯内療法学の概要について理解する。また、象牙質・歯髄・歯周組織のそれぞれに由来する歯の痛みについて説明できる。 患者の訴えや、処置内容と処置後の経過について理解し、それらに対して、歯科衛生士としてどう対応するかを説明できる。
3 ・ 4	11	29	金	1 ・ 2	野田	歯髄の保存療法 1) 歯髄鎮静療法 2) 歯髄覆罩(覆髄) 歯髄の除去療法 1) 歯髄切断法(断髄法) 2) 抜髄 (六.Ⅱ-2-E・F)	<ul style="list-style-type: none"> 歯髄保存療法の種類とその目的、処置法について説明できる。 保存不可能な歯髄の処置法、術式、使用器材、薬品、材料について説明できる。
5 ・ 6	12	20	金	1 ・ 2	野田	根管治療 1) 根管治療(感染根管治療)の基本概念 2) 根管治療の術式 根管充填 1) 根管充填 (六.Ⅱ-2-H・I)	<ul style="list-style-type: none"> 根管治療の概念について学び、その術式、使用器材、薬品、材料について説明できる。 根管充填について学び、その術式、使用器材、薬品、材料について説明できる。
7 ・ 8	1	10	金	1 ・ 2	東	外科的歯内療法 1) 切開・排膿法 2) ヘミセグション 3) 歯根端切除 歯内療法における偶発症 1) 治療用器具の根管内破折 2) 根管治療時の根管の穿孔 3) 器具の誤飲(嚥下)・吸引 (六.Ⅱ-2-K・L・M)	<ul style="list-style-type: none"> 外科的歯内療法の種類と適応症、術式について説明できる。 根管治療時に起こり得る偶発症について学び、その対処法を説明できる。
9 ・ 10	1	17	金	1 ・ 2	野田	歯内療法に使用される薬剤・器材 1) 薬剤 2) 器材 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 歯内療法で使用される薬剤や器材の種類と使用上の注意について説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
7	11	19	火	3	村井	歯周治療としてのリハビリテーション 1) 咬合調整 2) 矯正治療 3) 歯の固定法 4) インプラントによる治療 (六. II-3-F・J) 中間試験解説講義	<ul style="list-style-type: none"> 歯周治療におけるリハビリテーションの目的、種類を説明できる。
8	11	26	火	3	千葉	歯周治療における歯科衛生士の役割 1 1) 歯周治療の進め方 2) 歯周組織検査・診断時の補助 3) リスクファクターなどに対する指導 (六. II-3-B・E・F)	<ul style="list-style-type: none"> 歯周治療の各段階における歯科衛生士の役割を説明できる。 プラークコントロールとして、ブラッシングおよび補助的清掃用具の指導と食生活指導について説明できる。
9	12	3	火	3	村井	歯周治療における歯科衛生士の役割 2 1) スケーリング・ルートプレーニング 2) 歯周外科治療 (六. II-3-F・H)	<ul style="list-style-type: none"> スケーリング・ルートプレーニングの目的、使用スケーラーの種類、構造、基本原則について説明できる。 歯周外科治療時の介助のポイントと使用器材を説明できる。
10	12	11	水	3	鈴木	歯周治療における歯科衛生士の役割 3 1) メインテナンス メインテナンスに移行する時期と内容 2) 診療室器具・器材の管理 (六. II-3-L)	<ul style="list-style-type: none"> メインテナンスの重要性と意義、流れを説明できる。 メインテナンスの内容と時期および歯科衛生士の役割について説明できる。 歯周治療における感染リスクを理解し、適切な器具・器材の管理法を説明できる。 スケーラーのシャープニングの手順を説明できる。

第1学年 歯科補綴学 I

時間数	30時間 (2時間×15回)
担当者	補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野 助教 原 総一郎 補綴学講座 冠橋義歯・口腔インプラント学分野 助教 齊藤 裕美子 補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野 助教 米澤 悠 教員 佐藤 佳奈枝
実務経験	歯科医師、歯科衛生士
一般目標	補綴治療に関わる顎機能、筋機能、咬合について学ぶ。また、補綴治療のステップ、使用器械、使用材料について理解し、適切な診療の補助を行う知識を身に付ける。
成績評価	筆記試験の成績で評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ「歯科補綴学」(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時 限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1 ①	9	5	木	1	原	歯科補綴治療とは 1) 歯科補綴治療の意義と目的 2) 補綴装置の種類と適応 3) 補綴治療における診療補助 (六. III-1-A・B)	・補綴治療の概要について学び、補綴装置の種類、補綴治療における診療補助の内容、患者指導について説明することができる。
2 ②	9	12	木	1	原	歯科補綴治療の基礎知識 1 1) 歯列の形態と位置的関係 2) 顎口腔の機能 (六. III-1-A)	・補綴治療に関わる歯列、咬合、咀嚼、嚥下について理解することができる。
3 ③	10	3	木	1	原	歯科補綴治療の基礎知識 2 1) 咬合とその関連事項 2) 歯の欠損・喪失に伴う変化・障害 3) 顎関節症とその異常 (六. III-1-A)	・下顎の運動様式、咬合様式、顎関節の構造、機能、障害について理解する。
4 ④	10	10	木	1	齊藤	クラウン 1) クラウンの分類 2) 臨床ステップ 3) クラウンの技工 4) CAD/CAMクラウン治療 5) 治療に伴うトラブルとその対応 (六. III-1-B~E、 4-A・B)	・クラウンの種類を学び、臨床のステップ、使用器械、材料について説明できる。 ・クラウンの技工操作について理解できる。 ・CAD/CAMクラウン治療の概要について説明できる。 ・治療に伴うトラブルとその対応について説明できる。
5 ⑤	10	17	木	1	齊藤	ブリッジ 1) ブリッジの構成と材料 2) 臨床ステップ 3) ブリッジの技工 4) CAD/CAMブリッジ治療 5) 治療に伴うトラブルとその対応 (六. III-1-B~E、 5-A・B)	・ブリッジの構成、臨床ステップ、使用器械、材料について説明できる。 ・ブリッジの技工操作について理解できる。 ・CAD/CAMブリッジ治療の概要について説明できる。 ・治療に伴うトラブルとその対応について説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
6・演⑥	10	18	金	3・4	佐藤(佳)	補綴歯科治療(クラウン・ブリッジ)における歯科衛生士の役割 (四. II-2-B・C 六. III-1-B、5-D)	・装着後の口腔内清掃について説明できる。 ・補綴処置後におけるメンテナンスの重要性を説明できる。
7①	10	31	木	1	米澤	全部床義歯 1 1) 無歯顎者の病態 2) 全部床義歯の構成要素 (六. III-1-B、2-A~D)	・全部床義歯の概要について学び、無歯顎の生物力学的、生理学的特徴を説明できる。
8②	11	7	木	1	米澤	全部床義歯 2 1) 臨床ステップ① 2) 全部床義歯の技工操作① (六. III-1-B・D、 2-A~C)	・臨床ステップ、使用器械、材料について説明できる。
9③	11	21	木	1	米澤	全部床義歯 3 1) 臨床ステップ② 2) 全部床義歯の技工操作② 3) 患者指導 (六. III-1-B・D、 2-A~C・E)	・臨床ステップ、装着後の口腔内および義歯の管理について説明できる。
10④	11	28	木	1	原	部分床義歯 1 1) 部分床義歯の分類 2) 部分床義歯の構成要素 (六. III-1-B、2-A~D)	・部分床義歯の概要について学び、部分床義歯の構成要素と役割について説明できる。
11⑤	12	5	木	1	原	部分床義歯 2 1) 臨床ステップ① 2) 部分床義歯の技工操作① (六. III-1-B・D、2-A~D)	・臨床ステップ、使用器械、材料について説明できる。
12⑥	12	12	木	1	原	部分床義歯 3 1) 臨床ステップ② 2) 部分床義歯の技工操作② 3) 患者指導 (六. III-1-D、2-E)	・臨床ステップ、装着後の口腔内および義歯の管理について説明できる。
13⑦	12	19	木	1	米澤	特別な名称を持つ義歯 1) 治療目的による名称を持つ義歯 2) 構成によって特殊な呼ばれ方をする義歯 3) 有床義歯の補修 (六. III-1-B、6-A・B)	・特殊な義歯の特徴について理解し、有床義歯の補修法について説明できる。
14⑧	1	9	木	1	齊藤	補綴治療に用いられる器材とその管理 下顎運動および咬合の機能検査 (九. IV-1-A)	・器材や材料の使用法、管理法について説明できる。 ・咬合に関する検査と下顎運動、筋機能の検査について説明できる。
15⑨	1	20	月	2	佐藤(佳)	補綴歯科治療(有床義歯)における歯科衛生士の役割 (四. II-2-B・C 六. III-1-B、2-E)	・装着後の口腔内清掃について説明できる。 ・補綴処置後におけるメンテナンスの重要性を説明できる。

第1学年 口腔外科学(歯科麻酔学含む)

時間数	30時間 (2時間×15回)
担当者	口腔顎顔面再建学講座 口腔外科学分野 教授 山田 浩之 口腔顎顔面再建学講座 口腔外科学分野 講師 古城 慎太郎 口腔顎顔面再建学講座 口腔外科学分野 助教 小松 祐子 口腔顎顔面再建学講座 歯科麻酔学分野 教授 佐藤 健一
実務経験	歯科医師
一般目標	口腔外科領域の疾患と全身との関わりについて学び、的確な手術介補や術前術後の説明を行う知識を習得する。また、麻酔の種類と特徴、注意事項について理解する。
成績評価	筆記試験の成績で評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ「口腔外科学・歯科麻酔学」第2版 (医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	9	2	月	1	山田	総論Ⅰ 1) 口腔外科とは 2) おもな診査・検査と治療法 (六. I-3-A~E、 4-A~C)	・口腔外科領域の主な疾患および診察と診断、検査の方法と意味を学び、歯科衛生士の役割について説明できる。
2	9	9	月	1	小松	総論Ⅱ 3) 全身疾患の理解 4) 消毒・滅菌と感染症対策 (六. I-1-B、 九. I-6-A・B)	・口腔外科領域の主な疾患および口腔疾患と全身との関わりを理解し、その中で歯科衛生士の役割について説明できる。また、滅菌と消毒の種類と方法、清潔、不潔について説明できる。
3	9	30	月	1	小松	先天異常と発育異常 1) 歯の異常 2) 先天異常(口唇裂・口蓋裂) 3) 変形 4) 口腔軟組織の異常 5) 症候群 (六. IV-1-A)	・口腔領域の先天異常と発育異常について、発生要因、症状、障害を学び、その処置法について説明できる。
4	10	7	月	1	古城	口腔領域の損傷 1) 歯の外傷 2) 顎骨骨折 3) 粘膜組織の損傷 (六. IV-1-B)	・口腔領域の損傷について、原因、症状を学び、その処置法について説明できる。
5	10	21	月	1	山田	口腔粘膜疾患 1) 水疱、紅斑を主徴とする疾患 2) 潰瘍、白斑を主徴とする疾患 3) その他の異常ないしは疾患 (六. IV-1-C)	・各種口腔粘膜疾患の特徴と治療の基本を説明できる。
6	10	28	月	1	古城	口腔領域の炎症 1) 歯周組織の炎症 2) 顎骨の炎症 (六. IV-1-D) 顎関節疾患 1) 顎関節症 2) 顎関節の外傷 (六. IV-1-G)	・歯槽部、顎骨および周囲組織の炎症の感染経路、症状および治療の基本を説明できる。 ・各種顎関節疾患の症状と治療の基本を説明できる。
7	11	11	月	1	山田	口腔領域の嚢胞 1) 顎骨内にできる嚢胞 2) 軟組織に生じる嚢胞 (六. IV-1-E) 口腔領域の腫瘍および類似疾患 1 1) 歯原性腫瘍 (六. IV-1-F)	・顎骨および口腔軟組織に発生する各種嚢胞の特徴と治療の基本を説明できる。 ・顎口腔領域の腫瘍と腫瘍類似疾患の種類と特徴を説明できる。 ・歯原性腫瘍の特徴と治療の基本を説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
8	11	18	月	1	山田	中間試験	
9	11	25	月	1	古城	口腔領域の腫瘍および類似疾患 2 1) 良性腫瘍 2) 悪性腫瘍 3) 前癌病変 4) 腫瘍類似疾患 (六. IV-1-F)	・顎口腔領域の良性腫瘍、悪性腫瘍および腫瘍類似疾患の種類と特徴および治療の基本を説明できる。
10	12	2	月	1	山田	唾液腺の疾患 1) 炎症 2) 腫瘍 3) その他の疾患 (六. IV-1-H)	・唾液腺疾患の特徴と治療の基本を説明できる。
11	12	6	金	2	佐藤	歯科麻酔と歯科衛生士 安全な歯科治療のため患者の全身状態を把握し、その対応法を理解する (六. IV-4-A~C、 九. V-5-A, IX-2-D)	・全身状態の評価法を説明できる。 ・バイタルサインの意味と見方を説明できる。 ・ストレスに対する生体の反応を説明できる。 ・緊急時の対応法を列挙できる。
12	12	9	月	1	山田	口腔領域の神経疾患 1) 神経痛 2) 神経麻痺 3) 舌痛症 (六. IV-1-I・K) 血液疾患と出血性素因 1) 赤血球系の疾患 2) 白血球系の疾患 3) 出血性素因 (六. IV-1-J)	・口腔・顎顔面領域の神経疾患の特徴を説明できる。 ・口腔に症状を現わす血液疾患の特徴を説明できる。
13	12	13	金	2	佐藤	麻酔法・精神鎮静法 麻酔法、精神鎮静法について理解する (六. IV-3-A~C、 九. V-5-A~C)	・局所麻酔法とその介助法について説明できる。 ・精神鎮静法とその介助法について説明できる。 ・全身麻酔法について説明できる。
14	12	16	月	1	古城	創傷処置 抜歯術 1) 適応症と禁忌症 2) 抜歯の実際と介助 (六. IV-2-A・C)	・創傷の処置と治癒過程について学ぶ。また、抜歯術の適応症、禁忌症と、術式について説明できる。
15	1	20	月	1	山田	口腔外科小手術 1 1) 歯槽整形および骨瘤除去手術 2) 口腔インプラント 3) 切開・排膿 4) 嚢胞摘出術 (六. IV-2-B・D・E・F)	・各小手術の術式と使用器材、介補について説明できる。

第1学年 小児歯科学

時間数	30時間（2時間×15回）
担当者	口腔保健育成学講座 小児歯科学分野 助教 齊藤 桂子 口腔保健育成学講座 小児歯科学分野 助教 橋口 大輔
実務経験	歯科医師
一般目標	心身の発達途上にある小児と、小児期の口腔疾患について学び、適切な診療補助を行う能力を身につける。また、効果的な予防処置法および口腔保健指導を行う知識を習得する。
成績評価	筆記試験の成績で総合評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ 小児歯科学(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	9	5	木	4	齊藤	小児歯科学概論 1)小児歯科学とは 心身の発育 1)発育の概念と分類 2)小児の生理的特徴 (六. VI-1-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 小児歯科と一般歯科の違いについて説明できる。 小児の発育と生理的特徴について理解する。
2	9	12	木	4	齊藤	顔面頭蓋の発育 1)顎顔面頭蓋の発育 2)顎の発育 歯の発育と異常 1 1)歯の形成 (六. VI-1-E・F)	<ul style="list-style-type: none"> 顎顔面頭蓋の成長発育の過程と発育の評価法、および歯の形成、発育段階について理解する。
3	10	3	木	4	齊藤	歯の発育と異常 2 1)歯の萌出と萌出異常 歯列・咬合の発育と異常 (六. VI-1-G・H)	<ul style="list-style-type: none"> 乳歯、永久歯の萌出時期と萌出順序について説明できる。 歯列、咬合の発育段階とその特徴について理解する。
4	10	8	火	1	齊藤	乳歯・幼若永久歯の特徴と齲蝕 1)乳歯・幼若永久歯の特徴 2)乳歯・幼若永久歯の齲蝕 (六. VI-1-I、2-B)	<ul style="list-style-type: none"> 乳歯、幼若永久歯の永久歯との違いを説明できる。
5	10	17	木	4	橋口	小児期の特徴と歯科的問題点 1)低年齢児の特徴 2)学童期、思春期の特徴 (六. VI-1-C、3-A) 小児歯科診療体系の流れ 1 1)小児の歯科診療とその特徴 (六. VI-4-A~I)	<ul style="list-style-type: none"> 小児期の特徴について学び、歯科的問題点について説明できる。 小児歯科診療の概要について学ぶ。
6	10	23	水	3	齊藤	小児の歯科疾患 1)小児にみられる口腔軟組織の異常と疾患 2)小児にみられる歯周疾患 (六. VI-2-B)	<ul style="list-style-type: none"> 小児期の口腔内疾患、歯周疾患の特徴を説明できる。
7	10	24	木	4	橋口	小児歯科診療体系の流れ 2 1)小児歯科における齲蝕予防処置 (六. VI-4-J)	<ul style="list-style-type: none"> 小児歯科の齲蝕予防処置法として、歯口清掃法、食生活指導、フッ化物応用などについて説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
8	11	7	木	4	齊藤	中間試験	
9	11	21	木	4	橋口	患児の対応法 1) 患児・保護者と歯科医師・歯科衛生士との関係 2) 診療室における小児の態度と行動 (六. VI-3-A・B 九. VII-2-A)	<ul style="list-style-type: none"> 小児の行動について学び、診療室における患児や保護者への対応法や注意点について理解する。 非協力的な患児に対する対応法について説明できる。
10	11	28	木	4	橋口	小児歯科における診療補助の原則 1) 小児歯科診療における補助 2) 小児患者における麻酔法 (六. VI-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> 小児歯科診療における診療補助者の役割と小児歯科特有の注意点について説明できる。
11	12	5	木	4	橋口	診療補助 1-① 1) 診査 2) 診査時に行う検査と資料採取 3) 小児・乳歯の歯冠修復 (六. VI-4-A・D)	<ul style="list-style-type: none"> 小児歯科における検査と小児の歯冠修復、乳歯の歯冠修復の特徴、注意点、術式について説明できる。
12	12	12	木	4	齊藤	診療補助 1-② 1) 乳歯の歯冠修復 2) 小児の歯内療法 (六. VI-4-D・E)	<ul style="list-style-type: none"> 乳歯の歯冠修復、小児の歯内療法における特徴、術式、使用器材について説明できる。
13	12	19	木	4	齊藤	診療補助 1-③ 1) 乳歯歯内療法の手順と器具 2) 幼若永久歯の歯内療法 (六. VI-4-E)	<ul style="list-style-type: none"> 乳歯、幼若永久歯の歯内療法における特徴、注意点、術式、使用薬剤、使用器具について説明できる。
14	1	16	木	4	橋口	診療補助 2-① 1) 乳歯の抜歯 2) 小児の歯の外傷 3) 小児に対する薬物処方 (六. VI-4-B・G・H)	<ul style="list-style-type: none"> 小児の外科処置に関する知識を学び、適切な診療補助法について説明できる。
15	1	23	木	4	齊藤	診療補助 2-② 1) 咬合誘導治療 (六. VI-4-I) 定期検診(リコール) 1) 定期検診の目的と方法 (六. VI-4-J)	<ul style="list-style-type: none"> 小児の咬合誘導、定期検診について説明できる。

第1学年 矯正歯科学

時間数	30時間（2時間×15回）
担当者	口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野 准教授 間山 寿代 口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野 助教 菊池 恵美子
実務経験	歯科医師
一般目標	矯正治療の目的や不正咬合の状態と治療方法などを学び、適切な診療補助を行う能力を身につける。また、矯正治療中の口腔清掃指導や、患者管理を行うことができる知識を習得する。
成績評価	筆記試験の成績で総合評価する。
教科書	歯科衛生士学シリーズ 歯科矯正学 第2版(医歯薬出版)
参考書	「カラーアトラスハンドブック 矯正歯科臨床ヒント集」(クインテッセンス出版) 歯科臨床ハンドブック「矯正歯科臨床ヒント集ダイジェスト版」(クインテッセンス出版)

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	9	4	水	2	菊池 間山	歯科矯正学概論 1) 歯科矯正学とは 2) 矯正歯科治療の目的と意義 歯科衛生士の役割 (五. I-3-B、4-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ・矯正歯科治療の目的と意義を説明できる。 ・矯正歯科治療での歯科衛生士の役割を説明できる。
2	9	11	水	2	菊池 間山	成長発育 1) 成長発育とは 2) 頭蓋・顎顔面の成長発育 3) 歯列と咬合の発育 4) 口腔機能の発達 (六. V-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・頭蓋および顎顔面、歯と歯列の成長・発育について説明できる。 ・嚥下・咀嚼機能の発達について説明できる。
3	10	2	水	2	菊池 間山	咬合 1) 正常咬合と不正咬合 (六. V-1-B~D)	<ul style="list-style-type: none"> ・正常咬合について説明できる。 ・不正咬合の種類について列挙できる。 ・Angleの分類を説明できる。
4	10	9	水	2	菊池 間山	咬合 1) 不正咬合の原因 2) 不正咬合の予防 (六. V-1-B~D)	<ul style="list-style-type: none"> ・不正咬合の原因について列挙できる。 ・不正咬合の予防の意義を理解できる。
5	10	16	水	2	菊池	矯正歯科治療における 検査・分析・診断 1) 矯正歯科治療の流れ 2) 診断に必要な検査・分析 3) 矯正歯科治療における抜歯 (六. V-2-B、 九. VI-2-A~C)	<ul style="list-style-type: none"> ・矯正歯科治療における診断法を理解し、必要な検査項目を列挙し、その意義を説明できる。
6	11	1	金	3	菊池 間山	矯正力と歯の移動 1) 矯正力 2) 歯の移動様式 3) 固定 4) 歯の移動と組織反応 (六. V-2-C、D)	<ul style="list-style-type: none"> ・矯正力と移動する歯、固定源の関係を説明できる。 ・歯が移動する際の歯周組織反応を説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
7	11	6	水	2	菊池	矯正装置 1) 器械的矯正装置	・矯正装置の分類法を理解できる。
8	11	13	水	2	菊池 間山	矯正装置 2) 機能的矯正装置 保定装置 (六. V-3-B・C)	・矯正装置の分類法を理解できる。 ・保定について説明できる。
9	11	26	火	2	菊池 間山	中間試験・中間試験解説	
10	12	3	火	2	菊池 間山	矯正歯科治療の実際 1 1) 叢生 2) 上顎前突 3) 下顎前突 4) 上下顎前突 (六. V-2-A~E, 3-A~C)	・各不正咬合の特徴を説明できる。 ・矯正歯科治療の流れを説明できる。
11	12	10	火	2	菊池 間山	矯正歯科治療の実際 2 5) 過蓋咬合 6) 開咬 7) 交叉咬合 (六. V-2-A~E, 3-A~C)	・不正咬合をもたらす主な異常と矯正治療の流れを理解する。
12	12	17	火	2	菊池 間山	矯正歯科治療の実際 3 8) 口唇裂・口蓋裂 9) 成人矯正治療 10) 顎変形症と外科的矯正治療 11) MTM (六. V-2-A~E, 3-A~C)	・不正咬合をもたらす主な異常と矯正治療の流れを理解する。
13	1	14	火	2	菊池	矯正歯科用の材料・器具 1) 材料 2) 器具・器械 (九. VI-1~4)	・矯正歯科治療に使用する材料、器具について説明できる。
14	1	21	火	3	菊池 間山	矯正歯科における口腔衛生管理 1) 口腔衛生管理 2) 口腔筋機能療法 3) リスクと対応 (八. III-3-A・B、 九. VI-3-F)	・矯正歯科治療について理解し、患者や患者の家族に装置の目的や使用法、注意事項を説明できる。
15	1	21	火	4	菊池 間山	まとめ	・講義で得た知識を臨床で実践できるよう、矯正歯科治療について総合的に理解を深める。

第1学年 う蝕予防処置法

時間数	10時間 (2時間×5回) + 演習2回
担当者	教員 鳥畑 美香 非常勤講師
実務経験	歯科衛生士
一般目標	う蝕の原因を理解し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるための歯科衛生士の業務であるう蝕を予防する処置の技術・技能・および態度を習得する。
成績評価	筆答により評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ「歯科予防処置論・歯科保健指導論」(医歯薬出版)

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	6	14	金	4	鳥畑	第1講義室	基礎知識・総論 1)う蝕の病因と進行 2)う蝕予防処置の種類と目的 (四. I-5-A、III-1-A~D、 2-A、3-D 七. I-1-A・C)	<ul style="list-style-type: none"> う蝕の原因と進行、予防方法について説明できる。 歯科衛生士が行うう蝕予防処置の法的位置づけについて説明できる。
2	6	20	木	3	鳥畑	第1講義室	フッ化物の基礎知識 1)フッ化物とは 2)フッ化物のう蝕予防効果 フッ化物の応用 1)フッ化物歯面塗布法 2)フッ化物洗口法 3)フッ化物配合歯磨剤 4)フッ化物応用における 注意事項 (四. III-2-A・D、3-A・D~F 七. I-1-C、III-3-A~C)	<ul style="list-style-type: none"> フッ化物の基礎知識および予防効果について説明できる。 フッ化物応用の種類と特徴について理解し、う蝕予防の効果を説明できる。 フッ化物製剤の種類と濃度を説明できる。 フッ化物応用における注意事項を説明できる。
3	7	5	金	4	鳥畑	第1講義室	フッ化物洗口法 1)使用製剤 2)対象年齢 3)洗口方法 4)実施上の注意点 5)洗口実習 (四. III-2-A・D、3-F、 七. III-3-B)	<ul style="list-style-type: none"> 使用製剤の種類、濃度および取り扱い法を説明できる。 対象年齢と洗口方法を説明できる。 フッ化物洗口法実施上の注意点を説明できる。 フッ化物洗口剤を調整し、正しい洗口方法で実施できる。
4・ 演習	7	23	火	3・ 4	鳥畑 非常勤講師	第1実習室	フッ化物歯面塗布法 1)フッ化物歯面塗布法の種類 2)フッ化物製剤の種類 3)術後指導 フッ化物歯面塗布法 (マネキン実習) 1)簡易防湿 2)綿棒塗布法(溶液) (四. III-2-A、3-D・F、 七. III-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> フッ化物歯面塗布法の適応歯と術式を理解できる。 使用するフッ化物製剤の種類と取扱いを説明できる。 フッ化物歯面塗布後の術後指導内容を説明できる。 簡易防湿の目的を理解し実施できる。 フッ化物歯面塗布を安全に実施できる。
5・ 演習	7	25	木	3・ 4	鳥畑 非常勤講師	第3・4実習室	フッ化物歯面塗布法 (学生相互実習) 1)簡易防湿 2)綿棒塗布法(溶液) (四. III-2-A、3-D・F、 七. III-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> フッ化物歯面塗布を安全に実施できる。 フッ化物塗布後の術後指導ができる。

第1学年 歯周病予防処置法

時間数	60時間 (2時間×30回) + 演習5回
担当者	教員 太田 彩香 教員 似内 香織 非常勤講師
実務経験	歯科衛生士
一般目標	歯周病を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために必要な専門的知識、技術、および態度を習得する。
成績評価	筆答90%と実習態度(身だしなみ、提出物含む)10%により評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ「歯科予防処置論・歯科保健指導論」(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	30	火	1	似内	第1講義室	歯周病予防処置総論 歯周病予防処置の定義・種類・内容 (四.IV-2-A、 七.I-1-A、3-B・C)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生士法における歯科予防処置に関する用語を説明できる。 ・歯科衛生士業務のひとつである歯科予防処置の定義と種類を説明できる。 ・予防的歯石除去法の内容を説明できる。
2	5	14	火	1	似内 非常勤講師	第1実習室	スケーリングの概要 1. 歯周診査用器材 2. 手用スケーラーの種類 3. 鎌型スケーラー・ キュレットスケーラーの特徴 (七.I-2-A、 II-2-B、3-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯周診査用器材の名称、形態および使用目的を説明できる。 ・手用スケーラーの種類、名称、形態の特徴を説明できる。 ・鎌型スケーラーとキュレットスケーラーについて形態の特徴を説明できる。
3	5	22	水	4	似内 非常勤講師	第1実習室	マネキン操作 1. マネキンの基本位置 デンタルミラーの使用方法 1. ミラーの使用上の注意 (七.I-3-A・C)	<ul style="list-style-type: none"> ・マネキンを実習台に装着し、操作できる。 ・患者体位と術者の位置について説明できる。 ・デンタルミラーの役割、操作上の注意について説明できる。
4	5	27	月	3	似内 非常勤講師	第1実習室	鎌型スケーラーの基本操作 1. 使用目的と種類 2. スケーラーの把持・固定・動かし方 3. スケーラーの操作方法 操作上の注意 (七.I-3-A、II-3-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌型スケーラーの基本操作の原則について説明できる。 ・顎模型上にて鎌型スケーラー操作ができる。
5	6	4	火	1	似内 非常勤講師	第1実習室	鎌型スケーラー／マネキン実習 1. 上顎前歯 唇側・口蓋側 (七.I-3-A、II-3-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ・マネキン上にて上顎前歯唇側、口蓋側の鎌型スケーラー操作ができる。
6	6	11	火	1	似内 非常勤講師	第1実習室	鎌型スケーラー／マネキン実習 1. 下顎前歯 唇側・舌側 (七.I-3-A、II-3-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ・マネキン上にて下顎前歯唇側、舌側の鎌型スケーラー操作ができる。
	6	26	水	3 ・ 4	似内 非常勤講師	第1実習室	鎌型スケーラー／実技試験	<ul style="list-style-type: none"> ・マネキン上にて鎌型スケーラーを正しく選択し、操作できる。
7	7	2	火	1	似内 非常勤講師	第1実習室	探針の基本操作 1. 使用目的と種類 2. 探針の把持・固定・動かし方 3. 探針の操作方法 操作上の注意 (七.I-3-A・C、II-2-C)	<ul style="list-style-type: none"> ・探針の使用目的と種類について説明できる。 ・顎模型上にて探針操作ができる。
8	7	9	火	1	似内 非常勤講師	第1実習室	簡易防湿・探針基本操作 /マネキン実習 (七.I-3-A・C、II-2-C)	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易防湿の目的を理解し、実施できる。 ・各部位に合った歯肉縁下診査用探針の選択ができる。 ・探針操作時のポジショニングを理解し、顎模型上にて操作ができる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
9・10・演習	7	19	金	1 3	似内 非常勤講師	第3・4実習室	スケーリング前処置 ／学生相互実習 1. 口腔内洗浄 2. 歯石の探知(探針・エア) 3. バキューム・スリーウェイシリンジ 操作 (七. I-3-A・C、II-2-C)	・学生相互の口腔内において、口腔内洗浄、歯石の探知、バキューム、スリーウェイシリンジの操作ができる。 ・口腔内への綿球落下時の対応を理解できる。
11 3	8	26	月	1 3	似内 非常勤講師	第3・4実習室	スケーリング／学生相互実習 1. 下顎前歯部 (七. I-3-A・C、 II-3-A・B)	・学生相互の口腔内において、下顎前歯部の歯石の探知、スケーラー操作ができる。
14 15	8	28	水	1 2	似内 非常勤講師	第1実習室 第3・4実習室	超音波スケーラーの特徴 操作 1. 超音波スケーラーの仕組み 2. 操作方法 3. バキューム操作 補助者として 〃 一人で行う場合 4. エアスケーラーとの比較 超音波スケーラーの取り扱い (七. II-3-A・B)	・超音波スケーラーとエアスケーラーを比較しながら、超音波スケーラーの特徴を説明できる。 ・超音波スケーラーの操作とバキューム操作ができる。
演習	8	28	水	3 4	似内 非常勤講師	第3・4実習室	超音波スケーラー／マネキン実習 1. ユニットへの接続方法 2. 収納方法 3. 超音波スケーラーでのスケーリング 4. バキューム操作 (七. II-3-A・B)	・各種超音波スケーラーをユニットに接続し、収納することができる。 ・人工歯石付マネキン上にて、バキューム操作と併用して、超音波スケーラーを使用している歯石除去を行うことができる。
16 18	9	6	金	1 3	似内 非常勤講師	第3・4実習室	超音波スケーラー／学生相互実習 1. 超音波スケーラーでのスケーリング(上顎) 2. バキューム操作 (七. II-3-A・B)	・実際の口腔内にて、バキューム操作と併用して、超音波スケーラーを使用している歯石除去を行うことができる。
19	9	6	金	4	似内	第1実習室	歯面研磨法 1. 各種研磨器具の種類 (七. I-3-A・C、II-4-A)	・スケーリング後の歯面研磨について注意事項を説明できる。
20	9	9	月	3	似内 非常勤講師	第1実習室	歯面研磨法／マネキン実習 1. エンジン用器具による部位別 操作法 2. 手用器具による隣接面研磨 (七. I-3-A・C、II-4-A・B)	・スケーリング後の歯面研磨について注意事項を説明できる。また、マネキン上でエンジン用器具及び手用器具による部位別の歯面研磨ができる。
21 23	9	10	火	1 3	似内 非常勤講師	第3・4実習室	歯面研磨／学生相互実習 1. 前歯部 (七. I-3-A・C、II-4-A・B)	・学生相互の口腔内において、エンジン用器具及び手用器具による部位別の歯面研磨ができる。
24 25 演	10	24	木	1 3	似内 非常勤講師	第3・4実習室	歯面研磨／学生相互実習 1. 白歯部 (七. I-3-A・C、II-4-A・B)	・学生相互の口腔内において、エンジン用器具及び手用器具による部位別の歯面研磨ができる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
26 ・ 27	11	27	水	1 ・ 2	太田 非常勤講師	第1実習室	歯周組織検査／マネキン実習 1. 歯周ポケット測定 2. クリニカルアタッチメントレベル 3. 歯の動揺度 4. 付着歯肉幅 5. 測定値の記録 (七. I-3-A・B、 II-2-B・D)	<ul style="list-style-type: none"> 歯周組織検査の目的を説明できる。また、マネキン上にて歯周組織検査の各手技を行うことができる。
演習	11	27	水	3	太田 非常勤講師	第1実習室	歯周組織検査／マネキン実習 1. 歯周ポケット測定 2. クリニカルアタッチメントレベル 3. 歯の動揺度 4. 付着歯肉幅 (七. I-3-A・B、 II-2-B・D)	<ul style="list-style-type: none"> 歯周組織検査の目的を説明できる。また、マネキン上にて部位別に歯周組織検査ができる。
28 、 30	12	4	水	1 、 3	太田 非常勤講師	第3・4実習室	歯周組織検査／学生相互実習 (下顎) 1. 歯周ポケット測定 2. クリニカルアタッチメントレベル 3. 歯の動揺度 4. 付着歯肉幅 (七. I-3-A・B、 II-2-B・D)	<ul style="list-style-type: none"> 学生相互の口腔内において、歯周組織検査の各手技を行うことができる。

第1学年 口腔保健管理法

時間数	110時間 (2時間×55回)+演習11回
担当者	教員 金子 由美子 教員 鳥畑 美香 非常勤講師
実務経験	歯科衛生士
一般目標	生涯を通じた継続的な口腔保健管理法をライフステージごとに実践できる能力を身につけることを目的として、口腔や歯の健康を維持増進するための口腔清掃法を習得する。特に、障害者に対する口腔保健管理法は臨地実習と連携をとり、その進め方について習得する。
成績評価	筆答により評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ「歯科予防処置論・歯科保健指導論」(医歯薬出版) オーラルヘルスケア事典(学建書院)
参考書	歯ブラシ辞典

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	11	木	4	金子	第1講義室	口腔保健管理の概要 口腔の基礎知識 (二. I - 1 - B)	<ul style="list-style-type: none"> 口腔保健の定義について説明できる。 正常な口腔の構成要素を説明できる。 歯・口腔の機能について説明できる。
2	4	15	月	3	金子	第1講義室	齶蝕と歯周病の基礎知識 (三. II - 8 - A・B、 四. I - 5 - A)	<ul style="list-style-type: none"> 齶蝕の分類および原因とプロセスを理解できる。 歯周病の分類および原因とプロセスを理解できる。
3	4	19	金	3	金子	第1講義室	口腔内観察 1 1) 口腔内観察のポイント 2) 口腔内観察の記録方法 (七. I - 3 - A～C)	<ul style="list-style-type: none"> 歯・口腔の観察・記録をすることができる。 歯・口腔の疾患と異常の観察ができる。 歯・口腔の付着物と沈着物の観察ができる。
4	4	23	火	1	金子	第1講義室	口腔清掃指導法 1) 口腔清掃 2) 歯・口腔の役割 3) 口腔清掃の位置づけ 4) 口腔清掃法 (四. II - 1 - A・B)	<ul style="list-style-type: none"> プラークコントロールの意義を説明できる。 口腔清掃方法の種類と特徴を列挙できる。 セルフケアとプロフェッショナルケアについて、説明できる。
5	4	30	火	2	金子	第1講義室	口腔清掃方法 1 1) 歯ブラシの種類 (四. II - 2 - A、八. III - 1 - A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 歯ブラシの構成と種類、特徴について理解できる。 歯ブラシの選択と使用方法について説明できる。 電動歯ブラシの特徴について説明できる。
6	5	2	木	4	金子	第1講義室	口腔清掃方法 2 1) 歯磨剤 2) 洗口剤 (四. II - 3 - A～C、4 - A・B、 八. III - 1 - B)	<ul style="list-style-type: none"> 歯磨剤と洗口剤の種類・組成および配合目的について説明できる。 歯磨剤・洗口剤・保湿剤の特徴と使用方法について説明できる。 フッ化物配合歯磨剤・フッ化物配合洗口剤の使用方法を説明できる。
演習	5	7	火	1	金子	第1講義室	演習講義① 1) 知識の定着 2) 問題解決能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 講義で理解できなかった項目を列挙する。 学習方法を説明できる。 理解した項目を身に付ける。
7	5	13	月	3	金子	第1講義室	口腔清掃方法 3 1) ブラッシング方法① 毛先を使ったブラッシング方法 (四. II - 5 - A)	<ul style="list-style-type: none"> 各種ブラッシング方法の特徴を説明できる。 ブラッシング方法の選択と指導法について説明できる。 毛先を使ったブラッシング方法を実施できる。
8	5	14	火	2	金子	第1講義室	口腔清掃方法 4 1) ブラッシング方法② わき腹を使ったブラッシング方法 (四. II - 5 - A)	<ul style="list-style-type: none"> 各種ブラッシング方法の特徴を説明できる。 ブラッシング方法の選択と指導法について説明ができる。 わき腹を使ったブラッシング方法を実施できる。
9	5	15	水	4	金子	第1講義室	口腔清掃方法 5 1) 補助清掃用具① (四. II - 1 - B、2 - B・C、 八. III - 1 - A)	<ul style="list-style-type: none"> 補助清掃用具の種類と特徴、適応を説明できる。 補助清掃用具の選択と使用方法の説明ができる。 各種補助清掃用具を取り扱うことができる。
10	5	20	月	3	鳥畑	第1講義室	ライフステージ別保健行動及び歯科保健指導目標(I) 1) 乳児期 (八. III - 3 - A、IV - 3 - A、 V - III - A)	<ul style="list-style-type: none"> 乳児期の一般的特徴、口腔の特徴、歯科保健行動を説明できる。 ライフステージに応じた歯科保健指導ができる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
11	5	24	金	3	鳥畑	第1講義室	ライフステージ別保健行動及び歯科保健指導目標(Ⅱ) 1) 幼児期 (八.Ⅲ-3-A、Ⅳ-3-A、 V-Ⅲ-A)	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児期の一般的特徴、口腔の特徴、歯科保健行動を説明できる。 ライフステージに応じた歯科保健指導ができる。
12 ・ 13	5	29	水	3 ・ 4	金子	第1講義室 第2実習室	口腔清掃方法 6 1) 補助清掃用具② (四.Ⅱ-1-B、2-B・C、5-D、 八.Ⅲ-1-A、2-B)	<ul style="list-style-type: none"> 補助清掃用具の種類と特徴、適応を説明できる。 補助清掃用具の選択と使用法の説明ができる。 各種補助清掃用具を取り扱うことができる。 各種補助清掃用具を実技として行うことができる。
14	6	3	月	3	金子	第2実習室	口腔内観察 2 1) 歯垢染色剤 (四.Ⅱ-5-C)	<ul style="list-style-type: none"> 歯垢染色剤の特徴について説明できる。 歯垢染色剤の目的を説明できる。 歯垢染色剤を取り扱うことができる。
15 ・ 16	6	12	水	3 ・ 4	金子 非常勤講師	第2実習室	口腔内観察 3 1) 歯垢染色剤による観察・1 (四.Ⅱ-5-C)	<ul style="list-style-type: none"> 歯垢染色剤の特徴について説明できる。 歯垢染色剤の目的を説明できる。 歯垢染色剤を取り扱うことができる。
17 ・ 18	6	18	火	1 ・ 2	金子 非常勤講師	第2実習室	口腔内観察と口腔清掃方法 1) 歯垢染色剤による観察・2 2) ブラッシング方法・1 (四.Ⅱ-5-C、 八.Ⅲ-2-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 歯垢染色剤の特徴について説明できる。 歯垢染色剤の目的と使用法について説明できる。 歯・口腔の観察・記録をすることができる。 各種ブラッシング方法の特徴を説明できる。 各種ブラッシング方法を実施できる。
19 ・ 20	6	24	月	2 ・ 3	金子 非常勤講師	第2実習室	口腔清掃方法 7 1) 歯垢染色剤による観察・3 2) ブラッシング方法・2 3) 補助清掃用具 (四.Ⅱ-1-B、2-B・C、 5-A・C・D、八.Ⅲ-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> 歯垢染色剤の目的と使用法の説明ができる。 歯・口腔の観察・記録をすることができる。 各種ブラッシング方法を実施できる。 各種補助清掃用具の特徴・適応を説明できる。 各種補助清掃用具を取り扱うことができる。
演習	6	27	木	4	金子	第1講義室	演習講義② 1) 知識の定着 2) 問題解決能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 講義で理解できなかった項目を列挙する。 学習方法を説明できる。 理解した項目を身に付ける。
21	7	10	水	3	金子	第1講義室	ライフステージ別保健行動及び歯科保健指導目標(Ⅲ) 1) 学齢期 (八.Ⅲ-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> 学齢期の一般的特徴、口腔の特徴、望ましい歯科保健行動を説明できる。 ライフステージに応じた歯科保健指導ができる。
22	7	16	火	4	金子	第1講義室	ライフステージ別保健行動及び歯科保健指導目標(Ⅳ) 1) 青年期・成人期 (八.Ⅲ-3-A、Ⅳ-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> 青年期・成人期の一般的特徴、口腔の特徴、望ましい歯科保健行動を説明できる。 ライフステージに応じた歯科保健指導ができる。
23 ・ 24	7	17	水	3 ・ 4	金子	第1講義室	分析のためのデータ 1 1) 口腔衛生状態の指数 (四.Ⅵ-1-C、八.Ⅱ-1-E、 Ⅲ-2-A)	<ul style="list-style-type: none"> 口腔清掃状態の指数を説明できる。 口腔清掃状態の評価ができる。
25 ・ 26	7	24	水	3 ・ 4	金子	第1講義室	分析のためのデータ 3 1) 歯周疾患の指数 (四.Ⅷ-1-B、八.Ⅱ-1-E、 Ⅲ-2-A)	<ul style="list-style-type: none"> 歯周疾患の指数を説明できる。 歯周疾患の評価ができる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
27 5 29	8	30	金	2 5 4	金子 非常勤講師	第2実習室	口腔清掃方法 8 1) 歯垢染色剤による観察・4 2) 口腔衛生状態の指数 3) 歯周疾患の指数 (四.Ⅱ-1-B、Ⅷ-1-B)	<ul style="list-style-type: none"> 歯・口腔の観察・記録をすることができる。 口腔清掃状態の評価ができる 歯周疾患の評価ができる。
30	9	11	水	4	鳥畑	第1講義室	ライフステージ別保健行動及び歯科保健指導目標(V) 1) 障害児者 (四.Ⅸ-6-B、八.Ⅲ-3-A、 Ⅳ-3-A、Ⅴ-Ⅲ-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 障害児者の一般的特徴、口腔の特徴、歯科保健行動を説明できる。 障害児者に応じた歯科保健指導ができる。
31 ・ 32	9	12	木	2 ・ 3	鳥畑	第1講義室	口腔保健管理の実際 1 1) 知的障害者に対する指導 (知的障害者の理解) (四.Ⅸ-6-B、八.Ⅲ-3-A、 Ⅳ-3-A、Ⅴ-Ⅲ-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 臨地実習:知的障害者支援施設「緑生園」実習の内容を理解できる。
33 5 35	9	26	木	1 5 3	鳥畑 非常勤講師	第2実習室 実験室	口腔保健管理の実際 2 1) 緑生園実習準備 2) 想定演習 (四.Ⅸ-6-B、八.Ⅲ-3-A、 Ⅳ-3-A、Ⅴ-Ⅲ-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 臨地実習:知的障害者支援施設「緑生園」における個人指導の内容をシミュレートし演示することができる。
36 ・ 37	9	27	金	1 ・ 2	鳥畑 非常勤講師	第2実習室 実験室	口腔保健管理の実際 3 1) 緑生園実習準備 2) 想定演習 (四.Ⅸ-6-B、八.Ⅲ-3-A、 Ⅳ-3-A、Ⅴ-Ⅲ-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 臨地実習:知的障害者支援施設「緑生園」における個人指導の内容をシミュレートし演示することができる。
38 ・ 39	9	27	金	3 ・ 4	鳥畑	第1講義室	口腔保健管理の実際 4 1) 想定演習(グループワーク) (四.Ⅸ-6-B、八.Ⅲ-3-A、 Ⅳ-3-A、Ⅴ-Ⅲ-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 各症例において、歯科的問題点を抽出し列挙できる。 歯科的問題点の原因を考察できる。 歯科的問題点に対する指導内容を決定できる。 指導方法・指導媒体を選択できる。
演習	10	2	水	3 ・ 4	鳥畑 非常勤講師	第2実習室 実験室	口腔保健管理の実際 5 1) 緑生園実習準備 2) 想定演習 (四.Ⅸ-6-B、八.Ⅲ-3-A、 Ⅳ-3-A、Ⅴ-Ⅲ-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 臨地実習:知的障害者支援施設「緑生園」における個人指導の内容をシミュレートし演示することができる。
演習	10	9	水	3 ・ 4	鳥畑 非常勤講師	第2実習室 実験室	口腔保健管理の実際 6 1) 緑生園実習準備 2) 想定演習 (四.Ⅸ-6-B、八.Ⅲ-3-A、 Ⅳ-3-A、Ⅴ-Ⅲ-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 臨地実習:知的障害者支援施設「緑生園」における個人指導の内容をシミュレートし演示することができる。
演習	10	10	木	3 ・ 4	鳥畑	第1講義室 第2実習室 実験室	緑生園実習準備	<ul style="list-style-type: none"> 臨地実習:知的障害者支援施設「緑生園」の準備ができる。
40	10	15	火	3	鳥畑	第1講義室	口腔保健管理の実際 7 緑生園実習報告会 1) 実習報告 2) 自己評価 (四.Ⅸ-6-B、八.Ⅲ-3-A、 Ⅳ-3-A、Ⅴ-Ⅲ-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 臨地実習終了後の学生各自の学びについて報告し合い、他の学生と学びを共有できる。 実習記録・実習評価票により各自の保健指導を評価することができる。
41	10	15	火	4	金子	第1講義室	ライフステージ別保健行動及び歯科保健指導目標(VI) 1) 老年期 (六.Ⅶ-2-E、 八.Ⅲ-3-A、Ⅳ-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> 老年期の一般的特徴、口腔の特徴、望ましい歯科保健行動を説明できる。 日常生活習慣行動と生活環境を把握できる。 ライフステージに応じた歯科保健指導ができる。
42	10	16	水	1	鳥畑	第1講義室	口腔保健管理 1) 義歯装着者の口腔清掃 2) 義歯の取り扱い 3) 義歯の機械的、化学的清掃 (六.Ⅲ-2-E、九.Ⅳ-5-C、 八.Ⅲ-3-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 義歯の構成を理解できる。 義歯取扱いの注意事項を理解し説明することができる。 義歯の機械的清掃、化学的清掃を理解できる。 義歯装着者に応じた口腔清掃法を理解できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
43	10	16	水	3	鳥畑 非常勤講師	第2実習室 実験室	口腔保健管理 1)義歯清掃の実際 2)機械的および化学的清掃法の 実際 (六.Ⅲ-2-E、九.Ⅳ-5-C、 八.Ⅲ-3-A・B)	・義歯の機械的清掃、化学的清掃を実施できる。 ・義歯装着者に応じた口腔清掃法と管理指導ができる。
44 ・ 45	10	17	木	2 ・ 3	鳥畑	第2実習室	口腔保健管理の実際 9 1)義歯清掃 2)義歯装着者の口腔清掃 (グループワーク、学生相互実習) (六.Ⅲ-2-E、九.Ⅳ-5-C、 八.Ⅲ-3-A・B)	・義歯取り扱いに関する問題点を抽出できる。 ・問題点の原因を考察できる。 ・義歯清掃の指導ができる。 ・義歯装着者に応じた口腔清掃法と管理指導ができる。
46	10	22	火	1	鳥畑	第1講義室	口腔保健管理の実際 10 1)身体障害者に対する指導 (身体障害者の理解) (四.Ⅸ-6-B、八.Ⅲ-3-A、 Ⅳ-3-A、Ⅴ-Ⅲ-A・B)	・臨地実習:障害者支援施設「岩手ワークショップ」実習の内容を理解できる。
47 ・ 48	10	30	水	1 ・ 2	鳥畑 非常勤講師	第2実習室 実験室	口腔保健管理の実際 11 1)岩手ワークショップ実習準備 2)想定演習 (四.Ⅸ-6-B、八.Ⅲ-3-A、 Ⅳ-3-A、Ⅴ-Ⅲ-A・B)	・指定障害者支援施設「岩手ワークショップ」における個人指導の内容をシミュレートし演習することができる。
49 ・ 50	10	31	木	3 ・ 4	鳥畑	第1講義室	口腔保健管理の実際 13 1)想定演習 (グループワーク) 歯周疾患、義歯装着に対する 歯科保健指導 (八.Ⅲ-3-A、 Ⅳ-3-A、Ⅴ-Ⅲ-A)	・各症例において、歯科的問題点を抽出し列挙できる。 ・歯科的問題点の原因を考察できる。 ・歯科的問題点に対する指導内容を決定できる。 ・指導方法、指導媒体を選択できる。
51 ・ 52	11	6	水	3 ・ 4	鳥畑 非常勤講師	第2実習室 実験室	口腔保健管理の実際 12 1)岩手ワークショップ実習準備 2)想定演習 (四.Ⅸ-6-B、八.Ⅲ-3-A、 Ⅳ-3-A、Ⅴ-Ⅲ-A・B)	・指定障害者支援施設「岩手ワークショップ」における個人指導の内容をシミュレートし演習することができる。
演習	11	7	木	2 ・ 3	鳥畑 非常勤講師	第2実習室 実験室	口腔保健管理の実際 14 1)岩手ワークショップ実習準備 2)想定演習 (四.Ⅸ-6-B、八.Ⅲ-3-A、 Ⅳ-3-A、Ⅴ-Ⅲ-A・B)	・指定障害者支援施設「岩手ワークショップ」における個人指導の内容をシミュレートし演習することができる。
53	11	13	水	4	鳥畑	第2実習室 実験室	口腔保健管理の実際 15 1)岩手ワークショップ実習準備	・指定障害者支援施設「岩手ワークショップ」実習の準備ができる。
54	11	21	木	2	鳥畑	第1講義室	口腔保健管理の実際 16 岩手ワークショップ実習報告会 1)実習報告 2)自己評価 (四.Ⅸ-6-B、八.Ⅲ-3-A、 Ⅳ-3-A、Ⅴ-Ⅲ-A・B)	・臨地実習終了後の学生各自の学びについて報告し合い、他の学生と学びを共有できる。 ・実習記録・実習評価票により各自の保健指導を評価することができる。
55	11	28	木	2	金子	第2実習室	ライフステージ別保健行動及び歯科 保健指導目標(Ⅶ) 1)要介護高齢者 (六.Ⅶ-1-A、 八.Ⅲ-3-A、Ⅳ-3-A)	・QOL向上のための歯科保健指導ができる。 ・要介護高齢者の身体疾患と口腔疾患について説明できる。 ・舌・口腔粘膜の清掃用器具の選択と使用法の指導ができる。 ・口腔衛生管理に必要な器具の取り扱いができる。
演習	12	10	火	1	金子	第1講義室	演習講義③ 1)知識の定着 2)問題解決能力の向上	・講義で理解できなかった項目を列挙する。 ・学習方法を説明できる。 ・理解した項目を身に付ける。

第1学年 保健指導法

時間数	42時間+演習3回
担当者	教員 金子 由美子 教員 鳥畑 美香 非常勤講師
実務経験	歯科衛生士
一般目標	ライフステージ毎に多様な生活環境・健康状態にある個人及び集団に対し、最も適切な歯科保健行動がとれるよう、歯科衛生士として専門的な立場から支援できる能力を身につける。
成績評価	筆答により評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ「歯科予防処置論・歯科保健指導論」(医歯薬出版) オーラルヘルスケア辞典(学建書院) 歯科保健指導関係資料2024年版、歯科保健関係統計資料2024年版(口腔保健協会)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	16	火	2	金子	第1講義室	歯科保健指導総論 1. 歯科保健指導の概念 (四.VII-1-A~D、IV-2-H、 八. I-2-C~E)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科衛生士の法的な位置づけを説明できる。 ・ 歯科保健指導の意義と特性を説明できる。
2	4	18	木	4	鳥畑	第1講義室	ライフステージ別保健行動及び歯科保健指導目標(I) 1) 妊産婦期 (八.III-3-A、IV-3-A、V-3-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 妊産婦期の一般的特徴、口腔の特徴、歯科保健行動を説明できる。 ・ 必要な栄養素と食生活指導を説明できる。
3	5	17	金	2	鳥畑	第1講義室	ライフステージ別保健行動及び歯科保健指導目標(II) 1) 乳児期 (八.III-3-A、IV-3-A、V-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乳児期の一般的特徴、口腔の特徴、歯科保健行動を説明できる。
4	5	24	金	2	鳥畑	第1講義室	ライフステージ別保健行動及び歯科保健指導目標(III) 1) 幼児期 (八.III-3-A、IV-3-A、V-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児期の一般的特徴、口腔の特徴、歯科保健行動を説明できる。
5	5	28	火	2	金子	第1講義室	ライフステージ別保健行動及び歯科保健指導目標(IV) 1) 学齢期 (四.IX-1-B、4-A~C、 八.III-3-A・B、IV-3-A、 V-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学齢期の一般的特徴と口腔の特徴、望ましい歯科保健行動を説明できる。 ・ 日常生活習慣行動と生活環境を把握できる。
6	5	28	火	3	金子	第1講義室	ライフステージ別保健行動及び歯科保健指導目標(V) 1) 青年期 (四.IX-1-B、八.III-3-A・B、IV-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青年期の一般的特徴、口腔の特徴、望ましい歯科保健行動を説明できる。 ・ 日常生活習慣行動と生活環境を把握できる。
7	6	4	火	2	金子	第1講義室	ライフステージ別保健行動及び歯科保健指導目標(VI) 1) 成人期 (四.VI-6-A、IX-1-B、 八.III-3-A・B、IV-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成人期の一般的特徴、口腔の特徴、望ましい歯科保健行動を説明できる。 ・ 日常生活習慣行動と生活環境を把握できる。
8	6	11	火	2	金子	第1講義室	演習講義① 1) 知識の定着 2) 問題解決能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義で理解できなかった項目を列挙する。 ・ 学習方法を説明できる。 ・ 理解した項目を身に付ける。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
9	6	25	火	3	金子	第1講義室	歯科保健指導 1) 歯科保健指導の意義と目的 2) 歯科保健指導・健康教育 (八. I-1-A~C、2-A・B、 II-1-C)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科保健指導の意義と目的を説明できる。 ・ 歯科保健指導・健康教育の進め方を説明できる。
10	7	4	木	3	金子	第1講義室	歯科保健指導の実際 指導案作成 (四. IX-1-B、八. I-1-A~ E、2-A・B、II-1-C、III-3 -A・B、IV-3-A、IV-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青年期における個人指導の指導案を作成することができる。 ・ 対象者の特性とニーズが把握できる。
11	7	9	火	3	金子	第2実習室	歯科保健指導の実際 1) ブラッシング指導 (八. II-1-A~E、III-1~3、 IV-1-A、3-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導案に基づいた歯科保健指導を実施することができる。 ・ 必要な器具の取り扱いができる。
12 ・ 13 ・ 14	8	23	金	2 ~ 4	金子 非常勤講師	第2実習室	口腔清掃指導法 1) ブラッシング指導 (八. II-1-A~E、III-1~3、 IV-1-A、3-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導案に基づいた歯科保健指導を実施することができる。 ・ 必要な器具の取り扱いができる。
15	9	4	水	3	鳥畑	第1講義室	ライフステージ別保健行動及び 歯科保健指導目標(VII) 1) 障害児者 (四. IX-6-D、 六. VII-1-A、2-A・B、3-B、 八. III-3-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害児者の一般的特徴と歯科的特徴を説明できる。 ・ 障害児者の歯と口の健康管理の現状と重要性を理解できる。
16	10	15	火	1	金子	第1講義室	ライフステージ別保健行動及び 歯科保健指導目標(VIII) 1) 老年期 (四. IX-1-B、六. VII-2~3、 八. III-3-A~C、IV-3-A、 IV-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老年期の一般的特徴、口腔の特徴、望ましい歯科保健行動を説明できる。 ・ 日常生活習慣行動と生活環境を把握できる。
17	11	19	火	1	金子	第1講義室	ライフステージ別保健行動及び 歯科保健指導目標(IX) 1) 要介護高齢者 (四. IX-1-B、六. VII-2~5、 八. III-3-A~C、 IV-3-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 要介護高齢者の身体疾患と口腔疾患について説明できる。 ・ 日常生活習慣行動と生活環境を把握できる。
18	11	20	水	4	金子	第1講義室	生活習慣の指導 1) 非感染性疾患(NCDs) (四. VI-6-A~C、八. IV-1 -A・B、2-A、3-A~C)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 非感染性疾患(NCDs)の種類と特徴および口腔の関連性を説明できる。 ・ 生活習慣の指導・支援について説明できる。
19	11	25	月	4	金子	第1講義室	生活習慣の指導 1) 喫煙者に対する指導 (四. VI-6-A、八. IV-1-A、 2-A、3-A~C)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 喫煙と関係のある口腔疾患および症状について説明できる。 ・ 喫煙状況のアセスメントについて把握できる。 ・ 禁煙指導と支援について説明できる。
20	12	6	金	1	金子	第1講義室	大規模震災時の歯科保健活動 1) 大規模災害者の特徴 2) 大規模災害被災時の歯科保健 活動 (四. IX-7-A・B、五. I-6- A~C、八. III-3-C、 八. IV3-C)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大規模災害被災者の特徴を説明できる。 ・ 大規模災害時の歯科保健活動について説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
演習	12	12	木	3	金子	第1講義室	演習講義② 1) 知識の定着 2) 問題解決能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 講義で理解できなかった項目を列挙する。 学習方法を説明できる。 理解した項目を身に付ける。
21	1	9	木	2	金子	第1実習室	歯科衛生教育活動 教育媒体の作成・1 1) 健康教育 (四. IX-1-A~J、 八. VI-1-A~D、2-A~E)	<ul style="list-style-type: none"> 健康教育の概要について説明できる。 健康教育の方法について説明できる。
演習	1	10	金	3 ・ 4	金子	第1実習室	教育媒体の作成・2 (四. IX-1-A~J、 八. VI-1-A~D、2-A~E)	<ul style="list-style-type: none"> 歯科衛生教育活動時に使用する教育媒体をパソコンを使用して作成することができる。

第1学年 栄養指導法

時間数	15時間（2時間×8回）
担当者	医療法人 日新堂 八角病院 栄養部栄養課 中軽米 聡子
実務経験	管理栄養士
一般目標	歯科保健指導の一環として、歯科衛生士が個人あるいは集団の人々に栄養・食生活指導ができる能力を身につけるため、栄養学で学ぶ基礎知識をもとに、ライフステージ別の栄養・食生活に関する教育的働きかけの内容を学ぶ。
成績評価	筆答により評価する。
教科書	「楽しくわかる栄養学」(羊土社) オールガイド五訂増補食品成分表2024(実教出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	10	4	金	4	中軽米	栄養指導の意義 歯科保健指導の一環としての栄養指導の意義を理解する。 母性栄養指導 女性のライフサイクルから母性の各段階をとらえ、特に、妊婦に対する栄養指導上の問題点と指導ポイントについて学ぶ。 (八. V-1-D、3-B)	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養指導の目的と必要性を説明できる。 ・母性栄養指導上の問題点を説明できる。 ・栄養所要量と摂取量の問題点を説明できる。 ・妊娠初期・中期・後期における食事指導のポイントについて説明できる。 ・胎児の歯の形成時期に関連づけた栄養指導のポイントについて説明できる。
2	10	25	金	4	中軽米	乳児期栄養指導 出生後から1年間の「哺乳」と「離乳」の意味を理解し、その内容と方法について学ぶ。 (八. IV-3-A、V-1-D、3-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ・乳汁栄養の種類と方法について説明できる。 ・母乳栄養の意義について説明できる。 ・離乳の定義について説明できる。 ・離乳期の各段階における指導内容と問題点の概要について説明できる。
3	11	1	金	4	中軽米	幼児期栄養指導 発達段階に合った望ましい幼児食の内容と指導のポイントについて学ぶ。 (八. IV-3-A、V-1-D)	<ul style="list-style-type: none"> ・食事摂取基準をもとに、食構成・食の目安・望ましい食物の配分について説明できる。
4	11	15	金	4	中軽米	学童及び思春期栄養指導 小学生・中学生・高校生の各時期における食生活の現状と問題点を理解し、健康な身体をつくるための指導のポイントについて学ぶ。 (八. IV-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・この時期の食生活に起因する栄養の問題点について説明できる。 ・学校給食と家庭の食事において、何をどれだけ食べたべたら良いか説明できる。 ・肥満と貧血について、身体的特徴と栄養指導のポイントが説明できる。 ・小児期生活習慣病について説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
5	11	22	金	4	中軽米	成人期栄養指導 成人期における食生活の現状と問題点を理解し、健康な身体をつくるための指導のポイントについて学ぶ。 (八. IV-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> この時期の食生活に起因する栄養の問題点について説明できる。 生活習慣病に応じた食生活指導ができる。
6	11	29	金	4	中軽米	甘味食品の摂取法 全身の健康・齲蝕予防・嗜好の観点から砂糖をとらえ、シュガーコントロールの考え方を理解する。また、代用甘味料を含む甘味食品の与え方について学ぶ。 心身障害者に対する食事指導 心身障害者の食生活の現状について理解し、口腔の機能面を視野に入れた望ましい食生活への援助の仕方について学ぶ。 (四. III-2-A、 八. V-3-B・C)	<ul style="list-style-type: none"> 食生活と齲蝕予防におけるシュガーコントロールの考え方について説明できる。 砂糖の消費と齲蝕有病との関係を説明できる。 代用甘味料の種類と特徴について説明できる。 望ましい甘味食品の与え方を説明できる。 食品の砂糖含有量について資料を作成できる。 心身障害者の食生活の現状について説明できる。 適切な食事環境や食事姿勢について説明できる。 食物の調理形態や水分摂取の方法について説明できる。
7	12	13	金	4	中軽米	寝たきり高齢者に対する食事指導 寝たきり高齢者の食生活の現状について理解し、口腔の機能面を視野に入れた望ましい食生活への援助の仕方について学ぶ。 (八. V-3-B・C)	<ul style="list-style-type: none"> 寝たきり高齢者の食生活の現状について説明できる。 摂食嚥下障害者に対する適切な食事環境や姿勢について説明できる。 摂食嚥下障害者に対する食物の調理形態や水分摂取の方法について説明できる。
8	12	20	金	4	中軽米	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> これまでの栄養・食生活指導について学んできた内容を総合的に実践する。(グループワーク・食事記録の実施など)

第1学年 歯科診療補助法

時間数	94時間
担当者	教員 佐藤 佳奈枝 教員 鳥畑 美香 非常勤講師
一般目標	専門的な歯科診療の補助に対応するために必要な基本的知識、技術および態度を習得する。
成績評価	筆答90点、授業・実習態度(出欠席、身嗜み、提出物含む)10点により総合的に評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本「歯科診療補助論第2版」(医歯薬出版) 最新歯科衛生士教本「歯科機器」(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	22	月	3	佐藤	第1講義室	歯科診療補助総論 1) 歯科診療補助の概念 (九. I-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> 歯科衛生士の業務の一つである、歯科診療補助の意義と法的位置づけを説明できる。 歯科診療の補助と歯科診療の介助の違いを述べることができる。
2	4	24	水	4	佐藤	第1講義室	歯科診療室の基礎知識 1) 歯科診療室の環境 2) 歯科診療室の基礎知識 3) 歯科用ユニット、薬品、 歯科材料の管理 (九. I-3-A、5-A~F)	<ul style="list-style-type: none"> 診療室の環境、設備について説明できる。
3	4	26	金	2	佐藤	第1講義室	適切な患者対応 (歯科衛生士としての心構え) 1) 歯科診療所における患者対応 2) 特別な配慮が必要な患者 (九. I-3-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 適切な患者対応について説明できる。 患者の状態に応じた対応ができる。
4・5	5	10	金	3・4	佐藤 非常勤講師	第1講義室 第3・4実習室	実習の心得 1) 実習室における実習の心得 2) 身だしなみ 3) 実習室の設備、使い方、 清掃方法、後始末方法 4) 清潔域と不潔域 歯科用ユニット 1) 各部の名称と操作方法 2) メンテナンス 3) コンプレッサー 4) ユニット操作実習 (九. I-5-A)	<ul style="list-style-type: none"> 実習をするにあたり、その心得と身だしなみについて理解する。 学校の実習室の使用方法を理解する。 歯科用ユニットの各部名称を説明できる。 歯科用ユニットの管理ができる。
6	5	16	木	4	佐藤	第1実習室	検査・診断時の業務 1) 医療面接 2) 診査用器材の取り扱い (六. I-1-A、2-A、 九. I-2-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 医療面接について説明できる。 歯科診査用器具の取り扱い方法を説明できる。
7	5	21	火	1	佐藤	第1講義室 第4実習室	共同動作 1) 共同動作の概念 2) 共同動作におけるポジショニング 3) 診療時のライティング (九. I-4-A~D)	<ul style="list-style-type: none"> 共同動作の概念を列挙できる。 共同動作の正しいポジショニングができる。
8・9	5	31	金	3・4	佐藤 非常勤講師	第1実習室	衛生用品の作製 1) カット綿 2) ロール綿 3) 綿球 4) 小折ガーゼ 5) 噛みガーゼ 6) プローチ綿花	<ul style="list-style-type: none"> 歯科診療で用いる衛生用品が作製できる。 衛生用品の滅菌法・取り扱いを説明できる。
10 11 12	6	7	金	2 3 4	佐藤 非常勤講師	第3・4実習室	患者誘導・ポジショニング 1) ユニットへの患者誘導 2) 適正なポジショニング (九. I-3-A、5-A)	<ul style="list-style-type: none"> チェアユニットの各部名称を理解し、操作できる。 安全で確実な患者誘導をし、診療に際して適正なポジションをとることができる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
13	6	10	月	3	佐藤 非常勤講師	第1実習室	器具の受け渡し 1 1) 受け渡しに適した位置と避ける位置 2) ペングリップとパームグリップによる受け渡し (九. I-4-C)	・器具の取り扱いや受け渡しを実施できる。
14 ・ 15	6	28	金	3 ・ 4	佐藤 非常勤講師	第1実習室 第3・4実習室	バキュームテクニック 1 (3wayシリンジテクニック) 1) バキュームの基本技法 2) バキュームテクニックの応用 3) 3wayシリンジの基本操作 (九. I-4-A・B・D)	・バキュームテクニックの基本を理解できる。
16 ・ 18	7	5	金	1 ・ 3	佐藤 非常勤講師	第3・4実習室	バキュームテクニック 2 (マネキン実習) 1) 実習準備・後始末 2) バキュームの基本技法 (九. I-4-A~D)	・バキュームの操作方法を理解し、基本的操作ができる。
19 ・ 21	7	12	金	1 ・ 3	佐藤 非常勤講師	第3・4実習室	バキュームテクニック 3 (学生相互①) 1) バキュームの操作方法 2) 診療時のライティング (九. I-4-A~D)	・バキュームの操作方法を理解し、基本的操作ができる。 ・状況に応じた適正なライティングができる。
22 ・ 24	7	18	木	1 ・ 3	佐藤 非常勤講師	第3・4実習室	バキュームテクニック 4 (学生相互②) 1) 3wayシリンジテクニック 2) フォーハンドデッドデンティストリー (九. I-4-A~D)	・スリーウェイシリンジの目的を理解し、正しく操作できる。 ・フォーハンドテクニックの目的を理解できる。 ・フォーハンドテクニックの基本動作を実施できる。
25 ・ 26	8	21	水	3 ・ 4	鳥畑 非常勤講師	第3・4実習室	患者介助実習 1) 車椅子の基本操作 2) 視覚障害者の歩行介助 3) 聴覚障害者の歯科保健指導 (九. IX I-3-B)	・車椅子の基本的操作ができる。 ・視覚障害者の歩行介助方法を行うことができる。 ・聴覚障害者に対する歯科保健指導を實踐できる。
27 ・ 28	12	11	水	1 ・ 2	佐藤 非常勤講師	第1実習室 第4実習室	切削装置 1) 種類(回転切削器具、手用切削器具) 2) 操作方法 3) 消毒方法 4) メンテナンス (九. III-2-A)	・歯科診療に使用される切削装置の種類と取り扱い法を説明できる。
29	12	16	月	3	佐藤 非常勤講師	第1実習室	歯間分離法・隔壁法 1) 歯間分離とは 2) 各種セパレーターの手扱い 3) 隔壁法とは (九. III-1-A)	・歯間分離と隔壁法について理解し、使用器具の取り扱いができる。
30 ・ 33	12	18	水	1 ・ 4	佐藤 非常勤講師	第1実習室	口腔外科・歯科麻酔処置における業務 1) 歯科衛生士の役割 2) 局所麻酔時に使用する器材 3) 普通抜歯時に使用する器材 4) 口腔外科手術時に使用する器材 (九. V-1-A、2-A、4-A、5-A)	・口腔外科・歯科麻酔処置における歯科衛生士の役割を理解できる。 ・口腔外科治療で使われる器具の名称と用途を説明できる。
34 ・ 35	12	19	木	2 ・ 3	佐藤 非常勤講師	第1実習室	器具の受け渡し 2 1) 各種治療の術式に沿った受け渡し (九. I-4-C)	・具体的な治療の術式に沿って、受け渡しを実施できる。
36 ・ 38	1	15	水	1 ・ 3	佐藤 非常勤講師	第1実習室	口腔内写真撮影 1 1) 口腔内写真の意義 2) 撮影用器材の取り扱い 3) 撮影時のポジショニング 4) デジタルカメラの取り扱い (九. I-2-B、I-4-A・B)	・口腔内写真の意義を理解し、撮影方法と使用する器具、カメラの取り扱い法を説明できる。 ・デジタルカメラの準備ができる。 ・マネキンで5枚法の撮影ができる

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
39 5 41	1	22	水	1 3	佐藤 非常勤講師	第3・4実習室	口腔内写真撮影2(学生相互) 1) デジタルカメラでの部位別撮影方法 (九. I-2-B、 I-4-A・B)	・目的にあった口腔内写真撮影と補助ができる。
42 ・ 43	1	23	木	1 2	佐藤	第1実習室	口腔内写真撮影3 1) データの保存 2) 画像処理 3) プリントアウト 口腔内写真撮影 4 1) 撮影した写真の自己評価 2) 改善点と対策	・撮影した画像を保存できる。 ・データの画像処理方法について理解し、記録用の口腔内写真をプリントアウトできる。 ・各自の口腔内写真の自己評価を行い、撮影における改善策を検討する。
44 5 46 ・ 演	1	24	金	1 4	佐藤 非常勤講師	第2実習室 第3・4実習室	スタディモデルの作製 (相互実習) 1) 学生相互での概形印象採得 2) 石膏模型の作製 スタディモデルの作製 1) ゴム枠を用いた台付け (九. II-1・3-A)	・スタディモデル作製のため、相互で上下全顎の印象採得ができる。 ・採得した印象から石膏模型を作製できる。 ・ゴム枠を用いて台付けを行い、平行模型を作製できる。
47	1	27	月	1	佐藤	第1講義室	知識の定着	・歯科診療補助の業務内容と法的解釈を説明できる。 ・保健医療制度における補助行為に関する業務について説明できる。

第1学年 医療安全管理法

時間数	15時間（2時間×8回）
担当者	教員 佐藤 佳奈枝 非常勤講師
実務経験	歯科衛生士
一般目標	歯科医療機関において医療安全管理を行うために、滅菌、消毒法と感染予防法についての知識と技術、態度を習得する。
成績評価	筆答90点、授業・実習態度（身嗜み、提出物含む）10点により総合的に評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ「歯科診療補助論」（医歯薬出版） 歯科衛生学シリーズ「歯科衛生学総論」（医歯薬出版）
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	5	1	水	4	佐藤	第1講義室	医療安全と感染予防 1) 医療安全とは 2) 歯科診療時の偶発事故 3) 勤務中のインシデント・アクシデント 4) インシデントアクシデント報告 (五. I - 5 - A)	<ul style="list-style-type: none"> 医療安全の目標を述べることができる。 医療安全対策に関する用語を説明できる。 インシデント・アクシデント報告の目的を具体的に述べるができる。
2	5	7	火	2	佐藤	第1講義室	感染予防 I 歯科医療における感染予防対策1 1) 感染症と感染予防対策 2) 標準予防策 3) 医療従事者としての対応 (四. VI - 5 - A 五. I - 5 - A・B、 九. I - 6 - B)	<ul style="list-style-type: none"> 歯科医療における感染症の概念とその対策を説明できる。 標準予防策を具体的に説明できる。
3 ・ 4	5	10	金	1 ・ 2	佐藤 非常勤講師	第1実習室 第3・4実習室	感染予防 II 手指衛生（手指消毒） 1) 手指衛生の方法 2) 個人防護具の着脱 (五. I - 5 - A・B、 九. I - 6 - C)	<ul style="list-style-type: none"> 手洗い評価キットを使用し、洗い残しの多い部位を理解できる。 手指衛生を正しく理解し行うことができる。 防護用具の目的を理解し、正しく着脱ができる。
5 ・ 6	5	17	金	3 ・ 4	佐藤	第1講義室	感染予防 III 滅菌と消毒 1) 滅菌法 2) 消毒法 (九. I - 6 - A～E)	<ul style="list-style-type: none"> 滅菌・消毒の定義が説明できる。 滅菌・消毒・洗浄の方法について説明できる。 消毒薬の特徴と用途を説明できる。 各種滅菌機械、消毒薬の管理が説明できる。
演習	5	28	火	1	佐藤	第1講義室	演習 1) インシデント事例 2) インシデント報告書の書き方	<ul style="list-style-type: none"> 過去の事例報告から、本校で頻度の高い事例を理解することができる。 インシデント報告書の書き方を説明できる。
7	6	6	木	3	佐藤	第1講義室	感染予防 IV 医療廃棄物の取り扱い 1) 廃棄物の概要 2) 分類・分別・処理方法 (五. I - 5 - B)	<ul style="list-style-type: none"> 医療廃棄物の分類と分別について説明できる。 医療廃棄物の処理責任者、処理方法について説明できる。
8	6	6	木	4	佐藤	第1講義室	感染予防 V 歯科医療における感染予防対策2 1) リスクアセスメント 2) 環境感染予防対策 3) 血液・体液曝露事故対策 (五. I - 5 - C)	<ul style="list-style-type: none"> 感染のリスクを説明できる。 歯科診療室、歯科機器等の感染予防について説明できる。 血液・体液曝露事故発生後の対応と防止策を理解し、説明できる。

第1学年 歯科材料学

時間数	30時間（2時間×15回）
担当者	医療工学講座 教授 武本 真治 医療工学講座 准教授 澤田 智史 医療工学講座 助教 佐々木 かおり
一般目標	歯科診療で用いる歯科材料の基本的性質を理解し、適正な取り扱い・操作を行うために必要な基礎知識を習得する。
成績評価	演習(22%)、筆記試験(70%)、プレテストおよびポストテスト(8%)により総合的に評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ「歯科診療補助論」(医歯薬出版) 歯科衛生学シリーズ「歯科材料」(医歯薬出版)
参考書	「イラストと写真でわかる歯科材料の基礎」第4版(永末書店)

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	9	4	水	4	武本	歯科材料学概論 歯冠修復材(金属) (六.Ⅱ-1-B、Ⅲ-1-B、2、3、 4、5、6、九.Ⅳ-5-A、B)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯冠修復用材料の製作過程(鑄造)から歯科衛生士として必要な材料を列挙できる。 ・歯冠修復材料の名称を列挙できる。 ・歯科用合金の種類を列挙できる。
2	9	10	火	4	武本	材料の基礎知識1 (六.Ⅱ-1-B、Ⅲ-1-B、2、3、 4、5、6、九.Ⅳ-5-A、B)	<ul style="list-style-type: none"> ・応力と力、ひずみを説明できる。 ・熱による膨張と収縮を説明できる。 ・硬化反応を説明できる。 ・化学的性質を説明できる。 ・生物学的性質を説明できる ・接着を説明できる
3	10	1	火	4	武本	印象材1 ハイドロコロイド印象材 (九.Ⅱ-3-A、B)	<ul style="list-style-type: none"> ・印象材の種類を列挙できる。 ・印象材の硬化反応を説明できる。 ・ハイドロコロイド印象材の性質を説明できる。
4	10	8	火	4	武本	模型材1 (九.Ⅱ-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・模型材の種類を列挙できる。 ・模型材の性質を説明できる。
5	10	23	水	4	澤田	印象材2 ゴム質印象材 非弾性印象材 (九.Ⅱ-3-C~E、Ⅳ-2、 九.Ⅱ-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴム質印象材の特徴を説明できる。 ・非弾性印象材の特徴を説明できる。 ・印象採得の取り扱い方を説明できる。
6	10	29	火	4	澤田	印象材3 模型材2 (九.Ⅲ-4-A、Ⅳ-2)	<ul style="list-style-type: none"> ・印象採得方法を説明できる。 ・概形印象と精密印象を説明できる。 ・研究用模型と作業用模型を説明できる。
7	11	5	火	4	澤田	歯冠修復材(セラミックス、複合材料) (六.Ⅱ-1-D、Ⅲ-4-A、B 九.Ⅱ-4-A・C、Ⅲ-3、4)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯冠修復用セラミックスおよび複合材料を列挙できる。 ・CAD/CAMでの製作方法を説明できる。
8	11	12	火	4	佐々木	合着材/仮着材 (九.Ⅱ-2-A~C、E、 Ⅲ-4-A、Ⅳ-5-B)	<ul style="list-style-type: none"> ・合着材、仮着材の種類を列挙できる。 ・合着材、仮着材の組成を列挙できる。 ・合着材、仮着材の性質を説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
9	11	19	火	4	武本	合着材/接着材 (九.Ⅱ-2-D、 Ⅲ-4-A、Ⅳ-5-B)	<ul style="list-style-type: none"> • 接着性レジンセメントの組成を列挙できる。 • 接着性レジンセメントの性質を説明できる。 • 合着材、接着材の取り扱い方を説明できる。
10	11	26	火	4	武本	演習 ユニット1～9の内容を演習する。 (六.Ⅱ-1-B、Ⅲ-1-B、2、3、 4、5、6、九.Ⅳ-1、2、3、4-C)	<ul style="list-style-type: none"> • 歯冠修復物が列挙できる。 • 歯冠修復物の製作過程を説明できる。 • 印象採得を説明できる。 • 模型材を説明できる。 • 合着材・接着材が説明できる。 • 装着手順を説明できる。
11	12	3	火	4	澤田	成形修復材1/仮封材 (六.Ⅱ-1-D、九.Ⅱ-4-A・B、 5-A～E、Ⅲ-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> • 仮封材の種類を列挙できる。 • 成形修復材の種類を列挙できる。 • コンポジットレジンの構成成分を列挙できる。 • コンポジットレジンの性質を説明できる。
12	12	10	火	4	武本	成形修復材2 (六.Ⅱ-1-D、 九.Ⅱ-4-A・B、Ⅲ-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> • コンポジットレジン修復を説明できる。 • グラスアイオノマーセメント修復の特徴を説明できる。
13	12	17	火	4	佐々木	義歯用材料/レジン/ワックス (六.Ⅲ-1-B-a、九.Ⅱ-6-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> • 義歯用材料を列挙できる。 • アクリルレジンの組成を列挙できる。 • アクリルレジンの性質を説明できる。 • ワックスの種類と用途を説明できる。 • ワックスの組成と性質を説明できる。
14	1	14	火	4	澤田	歯科補綴材料 インプラント 適合試験材、粘膜調整材 リライン材 (六.Ⅲ-1-D、2-E、九.Ⅱ-6-C)	<ul style="list-style-type: none"> • インプラントに用いられる材料を列挙できる。 • インプラント材料に要求される性質を説明できる。 • 適合試験材、粘膜調整材、リライン材の種類と組成を列挙できる。
15	1	16	木	3	武本	切削研磨/材料の基礎知識2 (九.Ⅲ-2-A)	<ul style="list-style-type: none"> • 回転切削器具の種類を列挙できる。 • 切削材、研磨材の種類を列挙できる。 • 用途に応じた切削材、研磨材を選択できる。 • 材料の硬さ、熱伝導性、耐変色性を説明できる。

第1学年 歯科材料学演習

時間数	30時間 (2時間×15回)
担当者	教員 佐藤 佳奈枝 非常勤講師
実務経験	歯科衛生士
一般目標	歯科診療で用いる歯科材料の基本的性質を理解し、適正な取り扱い・操作を行うために必要な基礎知識を習得する。
成績評価	小テスト・提出物・受講実習態度(出欠席・身だしなみを含む)により総合的に評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ「歯科診療補助論」(医歯薬出版) 歯科衛生学シリーズ「歯科材料」(医歯薬出版)
参考書	「イラストと写真でわかる歯科材料の基礎」(永末書店)

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1・2	10	23	水	1・2	佐藤 非常勤講師	第2実習室 実験室	印象材1 1)アルジネート印象材の取り扱い 模型材1 1)模型材の取り扱い (九.Ⅱ-1-A、3-A)	・アルジネート印象材の練和ができる。 ・局部トレーを使用し、顎模型の印象採得ができる。 ・石膏の取り扱いができる。 ・石膏模型を作製できる。
3・4	10	30	水	3・4	佐藤 非常勤講師	第2実習室 実験室	スタディモデルの作製 (マネキン実習) 1)マネキンを用いた概形印象採得 2)石膏模型の作製 直接台付け トリミング (九.Ⅱ-3-A、Ⅳ-2)	・マネキン上で全顎の印象採得ができる。 ・普通石膏の取り扱いができる。 ・気泡を入れずに普通石膏を注入できる。 ・モデルトリマーの取り扱いができる。 ・スタディモデルを作製できる。
5・6・演	11	15	金	1 3	佐藤 非常勤講師	第2実習室 実験室	印象材2 1)寒天印象材の取り扱い 2)寒天・アルジネート連合印象採得 3)石膏模型の作製 4)モデルトリマーの取り扱い (九.Ⅱ-3-A・B、Ⅲ-4-Aa)	・寒天印象材の取り扱いができる。 ・2級窩洞模型を用いて寒天アルジネート連合印象採得ができる。 ・超硬質石膏を用いて模型作製ができる。
7・8	12	5	木	2・3	佐藤 非常勤講師	第2実習室 実験室	印象材4 1)ゴム質印象材の取り扱い 2)非弾性印象材の取り扱い (九.Ⅱ-3-C～E、Ⅳ-2)	・ゴム質印象材の準備ができる。 ・ゴム質印象材の練和ができる。 ・酸化亜鉛ユージノール印象材の取り扱いができる。 ・モデリングコンパウンドの取り扱いができる。
9	12	6	金	3	佐藤 非常勤講師	第1実習室	合着材/仮着材/接着材1 1)各種セメントの取り扱い (九.Ⅱ-2-A～E、 Ⅲ-4-A、Ⅳ-5-B)	・各種セメント練和のための準備ができる。 ・基本的なスパチュラ操作ができる。
10・11	12	9	月	3・4	佐藤 非常勤講師	第2実習室 実験室	合着材/仮着材/接着材2 1)合着材の取り扱い 1)仮着材の取り扱い 2)仮封材の取り扱い 1)接着材の取り扱い (九.Ⅱ-2-A～E、 Ⅲ-4-A、Ⅳ-5-B)	・各種合着材の練和ができる。 ・各種仮封材・仮着材の取り扱いができる。 ・接着性レジンセメントの取り扱いができる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
12	12	16	月	4	佐藤 非常勤講師	第1実習室	成形修復材 1) 成形修復材の取り扱い (六.Ⅱ-1-D、 九.Ⅱ-4-A・B、Ⅲ-3-A)	・コンポジットレジンとグラスアイオノマーセメントによる成形修復の準備ができる。
13	12	20	金	3	佐藤 非常勤講師	第1実習室	義歯用材料 1) 常温重合レジンの取り扱い 2) 切削器具、研磨材の取り扱い (九.Ⅱ-6-B、Ⅳ-4-A、 Ⅳ-5-A・B)	・常温重合レジンの取り扱いができる。 ・レジン、金属の切削、研削、研磨ができる。
14	1	16	木	1	佐藤 非常勤講師	第2実習室 実験室	歯科補綴材料 1) 適合試験材、粘膜調整材 リライン材の取り扱い (六.Ⅲ-1-B・De、2-E、 九.Ⅳ-5-A・B)	・床義歯装着時に用いる適合試験材、粘膜調整材、リライン材の準備と取り扱いができる。
15	1	21	火	2	佐藤 非常勤講師	第1実習室	根管治療用材料 1) 根管治療に使用する材料 2) 根管充填に使用する材料 (六.Ⅱ-2-I、九.Ⅲ-7-C)	・根管充填材の組成を説明できる。 ・根管充填用セメントの種類と特徴を理解できる。 ・根管充填用セメントの取り扱いができる。

第1学年 病院等臨床実習 I 期

時間数	53.5時間
担当者	岩手医科大学附属病院歯科医療センター 歯科医師、歯科衛生士 盛岡市立病院歯科 歯科医師、歯科衛生士 教務主任 鈴木 奈津子 教員 太田 彩香
実務経験	歯科医師、歯科衛生士
一般目標	歯科臨床の現場において、診療を見学し、チーム医療の一員としての歯科衛生士の役割と責任を学ぶとともに、歯科臨床の概要を理解する。
成績評価	出席状況(9割以上)、実習評価、レポートを総合して成績評価とする。
教科書	
参考書	

回数	月	日	曜日	時 限	担当者	講義・実習項目	学習到達目標
	4	12	金	3 ・ 4	鈴木	歯科医療センター施設見学	・施設の概要を理解し、安全に実習するための準備を行う。
	2	6	木	3 ・ 4	太田	盛岡市立病院施設見学	・施設の概要を理解し、安全に実習するための準備を行う。
	2	7	金	1 〈 4	太田	歯科医療センター実習 オリエンテーション	・施設の概要を理解し、安全に実習するための準備を行う。
1 〈 7	2 〈 3	10 〈 7	月 〈 金	1 〈 4	岩手医科大学附属 内丸メディカルセンター 歯科医療センター 盛岡市立病院 歯科医師 歯科衛生士	岩手医科大学附属内丸メディカルセンター 歯科医療センター 高度先進保存科 高度先進補綴科 口腔外科 口腔総合診療科 矯正歯科 小児歯科 盛岡市立病院 歯科 1) 診療開始前の準備 2) 器材器具及び材料の取り扱い 3) 歯科診療の見学 4) 患者誘導及び接し方の見学 5) 各症例ごとの後始末	・診療室のルールを理解できる。 ・医療安全管理に配慮した行動ができる。 ・感染予防(消毒・滅菌、手指消毒)対策に応じた行動ができる。 ・器材、機器および薬品の管理の方法を理解した行動ができる。 ・患者のデータ資料の管理方法を理解できる。 ・スタッフ間の連携、共同動作について理解できる。
						期間中、7日間の臨床実習を行う。	

第1学年 臨地実習 [歯科保健指導実習(幼稚園・小学校)]

時間数	18時間
担当者	教務主任 鈴木 奈津子
実務経験	歯科衛生士
一般目標	歯科衛生士の役割を理解するために、認定こども園・小学校での実習を通して必要な実践力を身につける。
成績評価	実習レポート、出席点により総合評価する。
教科書	
参考書	歯科衛生学シリーズ「歯科予防処置論・歯科保健指導論」(医歯薬出版) 「オーラルヘルスケア辞典」(学建書院)

回数	月	日	曜日	時 限	担当者	講義・実習項目	学習到達目標
1 ・ 2	4	26	金	3 ・ 4	鈴木	幼稚園実習オリエンテーション	・ 幼稚園実習の概要を理解する。
3 ・ 5	5	8 9	水 木	1 ・ 3	鈴木	幼稚園児に対する 歯科保健指導実習 1) 臨地実習準備 2) 園児・保護者・職員に対する 挨拶 3) 集団歯科保健指導 4) 歯科保健指導(個人)	・ 幼児への接し方を理解する。 ・ 発達段階に応じた歯科保健指導の 課題について理解する。
	2グループに分けて、実習を行う。						
6	6	14	金	4	鈴木	小学校実習オリエンテーション	・ 小学校実習の概要を理解する。
7 ・ 9	6	19	水	1 ・ 3		小学校児童に対する 歯科保健指導実習 1) 臨地実習準備 2) 児童・教諭・職員に対する 挨拶 3) 小学校児童に対する歯科 保健指導	・ 学童への接し方を理解する。 ・ 発達段階に応じた歯科保健指導の 課題について理解する。

第1学年 臨地実習 [障害者福祉施設歯科保健指導実習]

時間数	12時間
担当者	教員 鳥畑 美香
実務経験	歯科衛生士
一般目標	知的障害者・身体障害者に対して適切に歯科保健指導を行う能力を身につけるため、障害者福祉施設において、対象者の情報収集と理解・コミュニケーション・歯科保健指導及び援助の方法について習得する。
成績評価	実習記録・口腔内チャート、日常点を総合評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ「歯科予防処置論・歯科保健指導論」
参考書	オーラルヘルスケア辞典(学建書院)

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目	学習到達目標
1	10	11	金	1 5 4	鳥畑	知的障害者に対する 歯科保健指導実習 [障害者支援施設 緑生園] 1) 臨地実習準備 2) 入所者・職員に対する挨拶 3) 知的障害者に対する 歯科保健指導(40分間) ①医療面接 ②口腔内の観察と記録 ③歯垢の顕示と観察 ④日常のブラッシングと観察 ⑤ブラッシング指導 ⑥生活面に視点をのいた 歯科保健指導 ⑦ホームケアのポイント指導 ⑧まとめ 緑生園園長 特別講義 緑生園と知的障害者について 4) 施設内見学 5) 臨地実習終了後始末 6) 実習記録の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・実習に関する準備が確実にできる。 ・対象者の状況把握に努め配慮した適切な対応ができる。 ・コミュニケーションをとることができる。 ・医療面接を的確に行うことができる。 ・口腔内の状態を観察し、チャートに記録できる。 ・対象者に合った適切な歯科保健指導ができる。 ・毎日の生活状況から歯科的問題点を掌握し、良い状況に導くための指導ができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・知的障害者入所更生施設と入所者の概要を説明できる。 <ul style="list-style-type: none"> ・感染予防を基本とした後始末が確実にできる。 <ul style="list-style-type: none"> ・実習記録において、ポイントをまとめ丁寧に記録することができる。 ・PCRと歯垢指数(DI-S)を正しく算出することができる。

第1学年 接遇

時間数	15時間（2時間×8時間）
担当者	ヒット・ビジネスコンサルティング 及川 敦子
一般目標	一般社会や保健医療現場において、相手の立場を考えた気遣いができ、正しい接遇・マナーを身につけ、自然にふるまえるようになるために、接遇の基礎知識を学び、接遇・マナーの実際を習得する。
成績評価	レポート(70%) 日常点(30%)
教科書	実践ビジネスマナー第15版 (ウィネット)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目	学習到達目標
1	4	10	水	3	及川	接遇の概論 1) 接遇とは 2) 接遇の現代的意義 3) 医療現場での接遇の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・接遇の意義を説明できる。 ・接遇の現代的意義を説明できる。 ・医療現場における接遇の必要性を説明できる。
2	4	17	水	3	及川	接遇の実際 1 1) 言葉遣いのマナー 2) 敬語の基本	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉遣いのマナーを説明できる。 ・敬語の基本を具体的に述べることができる。
3	4	24	水	3	及川	接遇の実際 2 1) 敬語の応用	<ul style="list-style-type: none"> ・敬語の応用を具体的に述べることができる。
4	5	1	水	3	及川	接遇の実際 3 1) 慶弔、贈答のマナー 2) 表書きのマナー(実習) 3) 招待状のマナー(実習)	<ul style="list-style-type: none"> ・慶弔、贈答のマナーを説明できる。 ・葉書等の表書きのマナーを実践できる。 ・招待状に関するマナーを実践できる。
5	5	15	水	3	及川	接遇の実際 4 1) 受付応対のマナー 2) 美しいおじぎの仕方 3) 席次のマナー	<ul style="list-style-type: none"> ・受付応対のマナーを説明できる。 ・美しいおじぎができる。 ・席次について説明できる。
6	5	22	水	3	及川	接遇の実際 5 1) 電話応対のマナー 2) 電話取次ぎの仕方 3) 伝言の受け方	<ul style="list-style-type: none"> ・電話応対のマナーが説明できる。 ・電話取次ぎを実践できる。 ・伝言の受け方を実践できる。
7	6	5	水	3	及川	スピーチトレーニング 1) 自己表現力の方法 2) 共感能力・傾聴能力の訓練 3) 主体性の訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・自己表現力のあるスピーチができる。 ・相手のスピーチで共感したことを説明できる。 ・相手のスピーチを傾聴することができる。 ・主体性のあるスピーチができる。
8	7	3	水	3	及川	レポート形式の総括テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・接遇の意義を理解できる。 ・医療人としての患者観を理解している。 ・医療現場における接遇の必要性を理解できる。 ・医療関係の用語を漢字で書くことができる。

第1学年 コミュニケーション論

時間数	18時間 (2時間×9回)
担当者	比屋根 由美子
一般目標	歯科衛生士として、聴覚障害をもつ患者との信頼関係を築くため、聴覚障害について理解と認識を深め、会話に必要な簡単な手話読み取り及び手話表現技術を習得する。
成績評価	実技、レポート、授業態度で総合評価する。
教科書	「今すぐはじめる手話テキスト 聴さんと学ぼう！」 (一財)全日本ろうあ連盟
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目	学習到達目標
1	4	11	木	3	比屋根	聴覚障害の基礎知識 1	<ul style="list-style-type: none"> 聴覚障害について理解する。 聴覚障害者の生活を知る。 きこえないことの多様性を知る。
2	4	18	木	3	比屋根	聴覚障害の基礎知識 2	<ul style="list-style-type: none"> 耳の仕組みについて理解する。 聴覚障害者との会話を想定して、音声以外の伝達方法を考える。 指文字を習得する。
3	4	25	木	3	比屋根	聴覚障害の基礎知識 3 聴覚障害の種類について考える	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな聴覚障害者とのコミュニケーションの際の留意点を理解する。 あいさつの手話を覚える。 自分の名前を手話で表現する。
4	5	2	木	3	比屋根	手話による会話 1 挨拶・自己紹介 数字を使う表現	<ul style="list-style-type: none"> 数字の表現を習得する。 簡単な手話を習得する。 あいさつと自己紹介。
5	5	16	木	3	比屋根	手話による会話 2 家族・趣味	<ul style="list-style-type: none"> 家族の手話表現。 趣味の手話表現。 きこえない人と災害について考える。
6	5	23	木	3	比屋根	手話による会話 3 時間の表現	<ul style="list-style-type: none"> 相手にわかりやすい手話表現の技術を習得し、相手の簡単な手話が理解できる。 時間についての表現を理解する
7	5	30	木	3	比屋根	歯科診療室においての手話 1 医療に関する単語 歯科に関する単語	<ul style="list-style-type: none"> 診察室や保健指導での場面における聴覚障害者への理解ができる。 手話で会話する。
8	6	13	木	3	比屋根	歯科診療室においての手話 2 会話練習 ロールプレイ	<ul style="list-style-type: none"> 診察室での会話文を練習する。 ロールプレイで実際の会話を経験する。
9	6	27	木	3	比屋根	試験	<ul style="list-style-type: none"> 手話単語の読取り。 レポート。

第1学年 特別講義

時間数	4時間
担当者	岩手医科大学附属病院 歯科医療センター長 岩手医科大学附属病院 歯科衛生部 歯科衛生士長
実務経験	歯科医師、歯科衛生士
一般目標	実習に臨むにあたり、実習施設の概要、特色とその役割について学び、実習生としての自覚を持つ。
成績評価	出席をもって評価する
教科書	
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目	学習到達目標
1			期日未定		歯科医療センター長	歯科医療センターの概要と臨床実習における心構え	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科医療センターの概要を理解する。 ・ 臨床実習 I 期に臨むにあたっての心構えを持つことが出来る。
2			期日未定		歯科衛生士長	歯科医療センターにおける歯科衛生部の役割について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科医療センターにおける歯科衛生部、歯科衛生士の役割について理解する。

第1学年 特別講義

時間数	2時間
担当者	有限会社コーディアル 代表取締役 坪田 まり子
一般目標	コミュニケーションの意義と技法を学び、社会人として必要なコミュニケーションのあり方を学ぶ。
成績評価	出席をもって評価する
教科書	
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目	学習到達目標
1	11	20	水	2	坪田	歯科衛生士に必要な コミュニケーション力	<ul style="list-style-type: none"> ・第一印象の重要性を理解できる。 ・相手を不快にさせない話し方の原則を列挙できる。 ・歯科衛生士としてのキャリアビジョンを模索できる。